

令和7年度入学生
(2025年度)



プラネタリーヘルス ガイドブック



目 次

1. 長崎大学におけるプラネタリーヘルスの考え方	P. 1
2. プラネタリーヘルス科目の履修について	P. 2
3. プラネタリーヘルス科目の履修登録スケジュール	P. 3
4. プラネタリーヘルス科目テーマ Web 申請システム利用方法	P. 4
5. プラネタリーヘルス科目シラバス検索方法	P. 5
6. プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内目次	P. 6
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内	P. 8

1. 長崎大学におけるプラネタリーヘルスの考え方

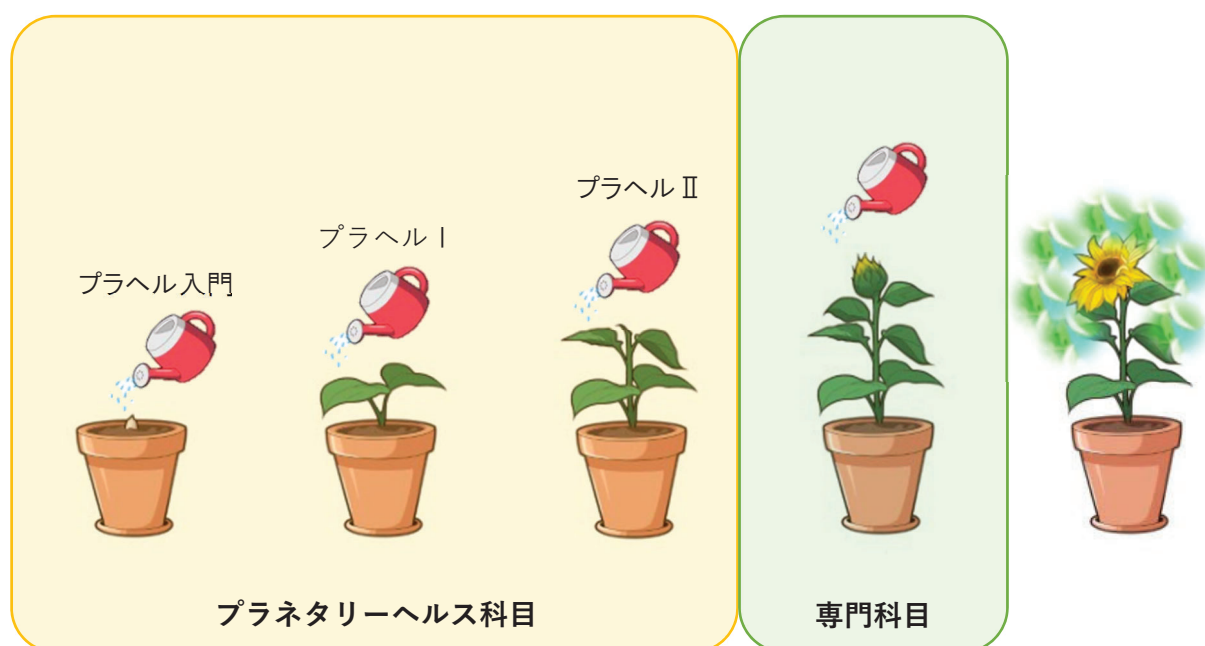
長崎大学では、プラネタリーヘルスを『「地球の健康」を支え続けるために有効な「答え（解決策）」を探求し、私たち自身の意識変容、行動変容を促す取り組み』と定義しています。

21世紀になり、人間の活動に起因する、気候変動、食糧危機、生物多様性の減少、環境汚染、貧困、格差、パンデミックなどが益々深刻化しています。これら現代の地域・環境が抱える諸課題は地球規模で重層化、多様化しており、これらが人間の福利や健康に影響を及ぼすことも明らかになってきています。

長崎大学は、人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群の解決に向けて、総合大学として各分野の高い専門性を生かし、「プラネタリーヘルス（地球の健康）」の実現をスローガンに掲げて様々な取組を行っており、「プラネタリーヘルス科目」もその重要な一環を担っています。

異なる分野で活躍する複数の教員がそれぞれの視点で地球規模の課題への取組とその重要性について講義するオムニバス形式の「プラネタリーヘルス入門」、学生がそれぞれの興味・関心に従ってテーマを選び、理解を深めるモジュール形式の「プラネタリーヘルスⅠ科目」、そして、専門教育との橋渡しとして所属学部が開設する「プラネタリーヘルスⅡ科目」と併せて学修することで、地球規模の課題への取組や、その重要性について多方面から捉えて学び、プラネタリーヘルスに向き合う姿勢「プラネタリーヘルスマインド」を身に付けます。

プラネタリーヘルスマインドの育成

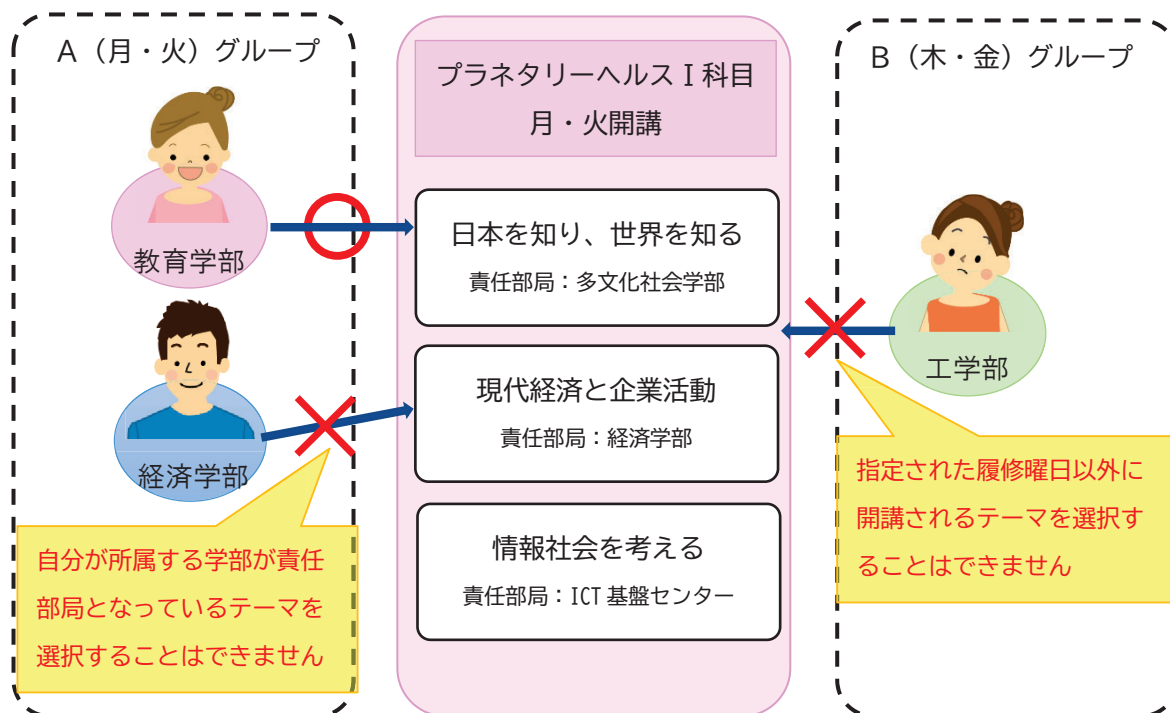


2. プラネタリーヘルス科目の履修について

(1) プラネタリーヘルス入門

- ・プラネタリーヘルス入門は、全員が同じ科目を履修します。
- ・各学部 of 教員がオムニバス形式で講義をします。

(2) プラネタリーヘルスⅠ科目



- ・プラネタリーヘルスⅠ科目は、テーマを選択して履修します。
- ・1年次前期に、プラネタリーヘルスガイドブックやシラバス(授業計画書)を参考に、プラネタリーヘルスⅠ科目のテーマを選択します。1テーマ60名の定員数を設けていますので、申し込みが定員数を超過した場合には、電子抽選が行われます。
- ・テーマの中に2科目あるため、どちらも修得する必要があります。
- ・プラネタリーヘルスⅠ科目のテーマについては、以下のとおりルールがあります。
 - ① 各学部に指定された履修曜日以外に開講されるテーマを選択することはできません。
 月・火：多文化、教育、経済、薬学、水産
 木・金：医学科、保健学科、歯学、情報、工学、環境
 - ② 自分が所属する学部（医学部にあつては学科）が責任部局となっているテーマを選択することができません。
 - ③ 決定したテーマについては、途中で変更することはできません。

(3) プラネタリーヘルスⅡ科目

- ・プラネタリーヘルスⅡ科目は、各学部・学科で開講される科目を履修します。

3. プラネタリーヘルス科目の履修登録スケジュール

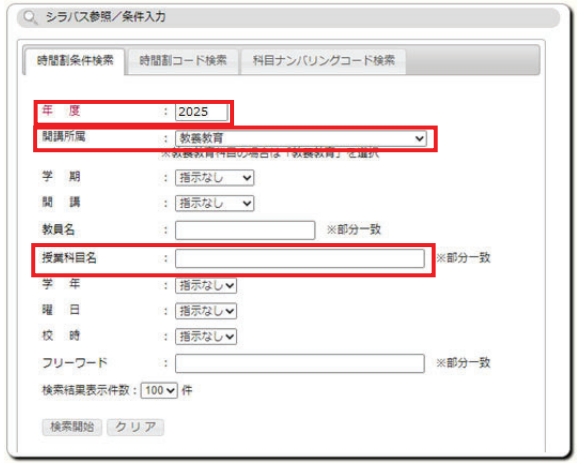
1 年 次 前 期						1 年 次 後 期						2 年 次 前 期					
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
①入門履修登録																	
	② I 科目テーマ Web 申請																
		③結果発表															
		④テーマ変更期間															
						⑤ I 科目履修登録											
												⑥ II 科目履修登録					

- ① 令和 7 年度前期履修登録期間
1Q 開講のプラネタリーヘルス入門を履修登録すること！
- ② 5 月 12 日（月）～19 日（月） プラネタリーヘルス I 科目テーマ Web 申請を行う（P.4 参照）
- ③ 6 月 16 日（月） テーマ Web 申請システムで結果を確認する
抽選等によりテーマが決定しなかった学生については、調整期間を設けテーマを決定する
- ④ 6 月下旬：欠員があったテーマのみを対象として、テーマ変更を認める（詳細については、教養教育掲示板にて確認すること）
- ⑤ 令和 7 年度後期履修登録期間
決定したテーマの **2 科目**を履修登録すること！
- ⑥ 令和 8 年度前期履修登録期間
各学部・学科で指定されたプラネタリーヘルス II 科目を履修登録すること！

4. プラネタリーヘルス科目テーマ Web 申請システム利用方法

1		申請期間に、学内 LAN に接続後、「プラネタリーヘルス科目テーマ Web 申請システム」にアクセス ※ 学内無線 LAN(Wi-Fi)接続方法はこちらを参照 ※ 学外からの接続方法(VPN)はこちらを参照
2		「本人連絡先」の入力 郵便番号、住所（現住所）、電話番号（携帯電話）、メールアドレスを入力 ※ 個人の連絡先については、長崎大学からの確認・連絡等に使用するので、誤りのないよう入力してください
3		「希望テーマ選択」の入力 第 5 希望までテーマを選択 ※ 希望者多数の場合は、電子抽選が行われ、第 2 希望以降のテーマになることもありますので、テーマの内容をきちんと理解して、選択してください
4		「希望テーマ」の確認 申請の内容を確認し、「申請」をクリック ※ 申請期間内であれば、再度、Web 申請システムにログインして、テーマ選択の変更が可能です

5. プラネタリーヘルス科目シラバス検索方法

1		NU-Web 学務情報システムにログインし、「シラバス・受講ふり返し集計結果」をクリック
2		プラネタリーヘルス入門： 年度「2025」 開講所属「教養教育」 授業科目名「プラネタリーヘルス入門」 プラネタリーヘルスⅠ科目： 年度「2025」 開講所属「教養教育」 授業科目名「テーマ番号」または「科目名」 <u>※テーマ名では、検索できません！</u> プラネタリーヘルスⅡ科目： 年度「2026」 開講所属「教養教育」 授業科目名「科目名」 ※プラネタリーヘルスⅡ科目のシラバスは、 2026年3月末に閲覧可能
3		参照欄の「和文」をクリック

6. プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ・科目案内目次

<グループA>

対象学部：

多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部

テーマ番号	テーマ名	責任部局	科目名	ページ
25- A1	日本を知り、世界を知る	多文化社会学部	世界と日本の陶磁器文化交流	P. 8
			日韓文化関係論	
25- A2	現代経済と企業活動	経済学部	生活・経済活動と法	P. 9
			企業活動と社会	
25- A3	がんってなんだろう？	医学部医学科	がん細胞の不思議	P. 10
			がんと共に生きる	
25- A4	ハンディキャップの理解	医学部保健学科	老いと健康	P. 11
			障害体験と支援	
25- A5	薬と生命科学を理解するための基礎科学	薬学部	ビギナーのための生物学	P. 12
			ビギナーのための有機化学	
25- A6	暮らしの中の科学	工学部	環境・生活と化学	P. 13
			身の回りの物理科学	
25- A7	環境をめぐる諸問題	環境科学部	生物多様性を考える	P. 14
			地球温暖化を考える	
25- A8	食の安全と持続的な海洋食料資源の利用	水産学部	海洋食料資源の応用	P. 15
			人から見た水産業	
25- A9	情報社会を考える	ICT基盤センター	情報と社会	P. 16
			情報化の役割と課題	
25- A10	暮らしに活かす情報技術	ICT基盤センター	情報の活用	P. 17
			データの科学的分析と可視化の実践論	
25- A11	核兵器のない世界を目指して	核兵器廃絶研究センター	国際社会と平和	P. 18
			核兵器とは何か	
25- A12	他者や社会と関わる	教育開発推進機構	社会問題を考える	P. 19
			他者理解の心理学	
25- A13	環境と人類の持続可能な発展	研究開発推進機構	国際環境法	P. 20
			国内環境法	
25- A14	国境を越えていけ！	グローバル連携機構	グローバル化社会への備え	P. 21
			国際協力と開発援助	
25- A15	プラネタリーヘルスと人間の健康	グローバル連携機構	感染症で学ぶグローバル化と私たち	P. 22
			健康経済と国際社会	

<グループB>

対象学部：

医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部

テーマ番号	テーマ名	責任部局	科目名	ページ
25- B1	日本を知り、世界を知る	多文化社会学部	アフリカ入門	P. 23
			長崎から海外輸出された陶磁器	
25- B2	変わり行く社会を生きる	教育学部	心と社会	P. 24
			社会とマスメディア	
25- B3	現代の教養	教育学部	文化と社会	P. 25
			自然の科学	
25- B4	芸術と文化	教育学部	ことばの世界	P. 26
			音楽	
25- B5	現代経済と企業活動	経済学部	経済活動と社会	P. 27
			租税と社会	
25- B6	放射線科学への招待	医学部医学科	放射線科学のいろいろ	P. 28
			放射線診療を学ぶ	
25- B7	健康と共生	医学部保健学科	社会における精神健康	P. 29
			人の健康について	
25- B8	ヒトの生物学とストレス	歯学部	ヒトの生物学	P. 30
			ストレスと健康	
25- B9	暮らしの中の科学	工学部	暮らしの中の化学	P. 31
			暮らしの中の物理	
25- B10	暮らしを支えるエンジニアリング	工学部	暮らしを支えるエレクトロニクスエンジニアリング	P. 32
			暮らしを支えるマテリアルエンジニアリング	
25- B11	環境をめぐる諸問題	環境科学部	地球温暖化を考える	P. 33
			水環境を考える	
25- B12	海洋の生物多様性と生態系サービス	水産学部	海とは何か？～海洋生態系の現状と課題～	P. 34
			海の生物と多様性	
25- B13	グローバル社会とコミュニケーション	留学生教育・支援センター	共生社会とコミュニケーション	P. 35
			日本語教育から見るグローバル共生社会	
25- B14	公平な社会と人間関係	教育開発推進機構	対人関係の社会学	P. 36
			ジェンダーの視点から考える現代社会	
25- B15	文化と対人関係	教育開発推進機構	対人関係を考える	P. 37
			人間関係の社会学	
25- B16	国境を越えていけ！	グローバル連携機構	グローバル化社会への備え	P. 38
			国際協力と開発援助	
25- B17	プラネタリーヘルスと人間の健康	グローバル連携機構	健康経済と国際社会	P. 39
			感染症で学ぶグローバル化と私たち	

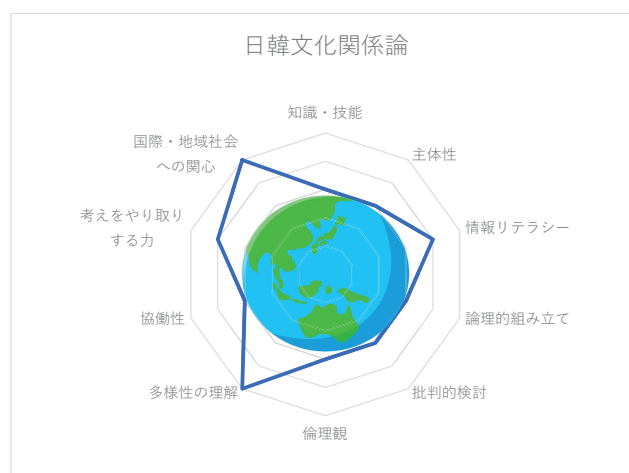
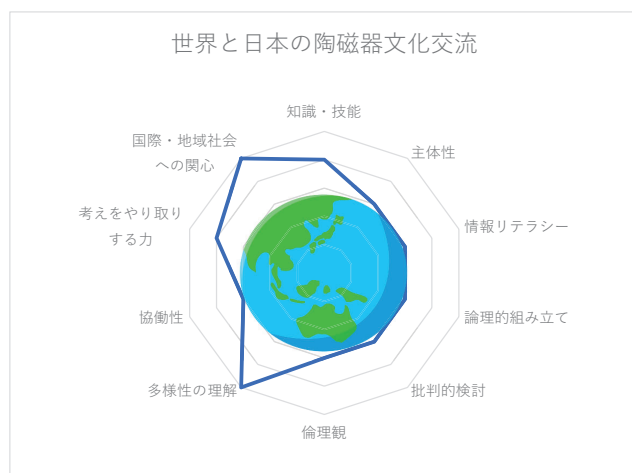
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A1		テーマ名	日本を知り、世界を知る							
責任部局	多文化社会学部		テーマ責任者	野上 建紀							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
		○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	「人新世」という地質時代上の時代区分が提唱されています。人類が地球の地質や生態系に与えた、あるいは与えている影響に注目した時代区分です。かつて「人間は考える葦」であると述べた思想家がいました。人はひとくきの葦にすぎないが、考える葦として、その思考こそが人を支えるものというわけです。しかし、人新世という言葉が示すように、人はすでに弱い存在ではなく、地球全体に影響を及ぼすだけの力を有しています。その一方、思考についてはAI（人工知能）と人の知能との境界がとて曖昧になっています。今こそ人は、人とは何であるか学ばなければならないのです。
テーマの趣旨	人文学の目的は、人とは何かを知ることです。「日本を知り、世界を知る」では、日本と世界の関係について歴史学（考古学）と地理学によって、時間的・空間的に考えようと思います。考古学では土器の誕生以降、普遍的に使用されてきたやきものを中心に日本と世界との関係をみていきます。
学生の皆さんへのメッセージ	私たちは「多文化社会」の未来に何を見るのでしょうか。コロナ禍を通して、地球一体化を体験したにもかかわらず、世界では戦争や紛争がやむことなく続いています。異なる文化や文明が接触することで生じる摩擦熱を私たちは制御できていません。多文化社会を築くにはまだまだ未熟と言わざるをえません。そのため、人とは何であるか、よりよく学ばなければなりません。一緒に学びましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
世界と日本の陶磁器文化交流	野上 建紀	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となり、陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができる。日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解く。	物質文化、交流、考古学、歴史学	◎	
日韓文化関係論	阪野 祐介	この講義では、近くて遠い国ともいわれる韓国の社会や文化の特徴について、地理学的視点を加えつつ考察する。異文化理解として主に近現代の韓国の社会や文化について学ぶとともに、日本との共通点や差異点、関係性を解き明かしながら、日本の社会や文化について捉え直すことをめざすものでもある。	地理学、比較文化、国際関係、異文化理解	◎	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



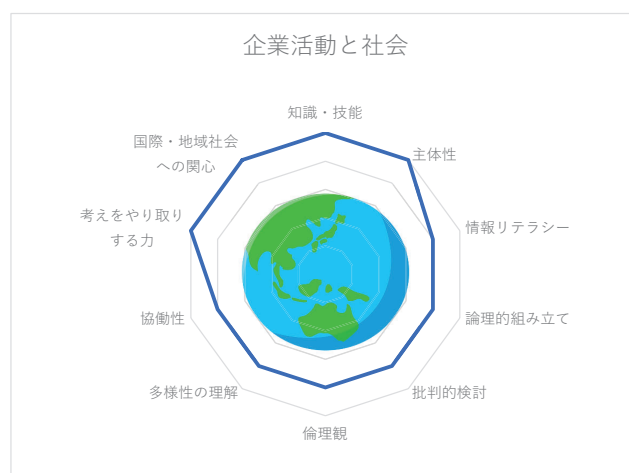
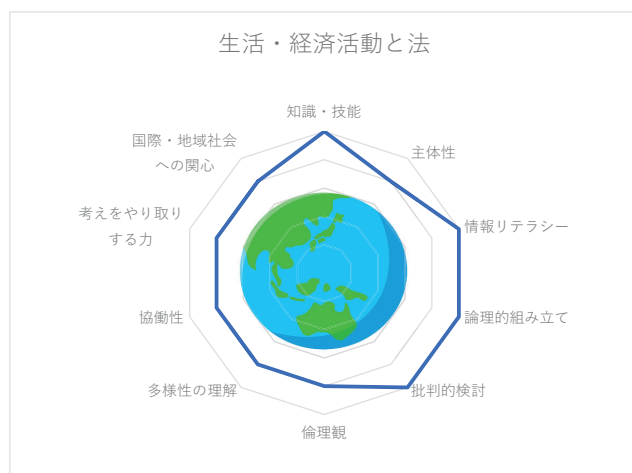
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A2		テーマ名	現在経済と企業活動							
責任部局	経済学部		テーマ責任者	朱 宝玲							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○					○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	プラネタリーヘルスは、人間の活動と地球環境の健全性が相互に影響を与える視点に基づく概念である。地球環境を保護するためには、人間活動や健全な社会秩序が保たれる仕組みが必要である。健全な社会秩序を形成・維持するためには、公正な立法、適正な法の執行、独立した司法が不可欠であり、社会構成員である個人と企業は責任ある行動を取るべきである。
テーマの趣旨	環境保護と経済成長を対立させず、持続可能な経済モデルを形成するため、法的観点から掘り下げて考えていく（例：自然資源や環境保護のため、法は、企業や個人の責任を明確化し、資源の適正利用や汚染防止を義務付け、持続可能な開発を促し、環境破壊を防ぐ役割を果たす）。自然環境を破壊し、社会秩序を混乱させる戦争や紛争を防ぐため、法の仕組みが重要な役割を果たす。プラネタリーヘルスを実現するには、社会構成員が法令順守のみならず、法の仕組み作り（国内・国際）にも積極的に関与すべきである。その第一歩は、日々の生活と法の関係性を理解することから始まる。
学生の皆さんへのメッセージ	プラネタリーヘルスを実現するには、社会の安定と経済成長が必須であり、その基盤となるのが経済と法の知識である。経済と法を学び、そのバランスを理解し、より健全な社会秩序を構築するために、必要なスキルを身につけよう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
生活・経済活動と法	朱 宝玲	日々生活をする上で生じる問題について、法は、どのように関わっているか、法の仕組みについて学習する。	実体法、手続法、国際法	○	◎
企業活動と社会	林 麗桂	「組織とは何か」について基本的な概念を中心に学び、組織と個人、組織と環境、組織と社会とのダイナミックな関係を理解する。	経営組織、組織行動心理	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



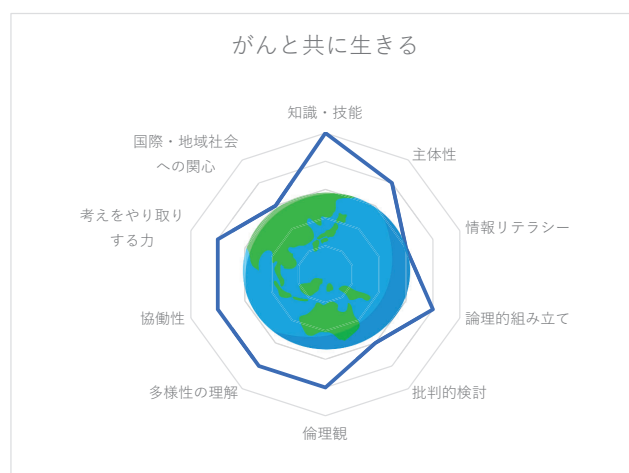
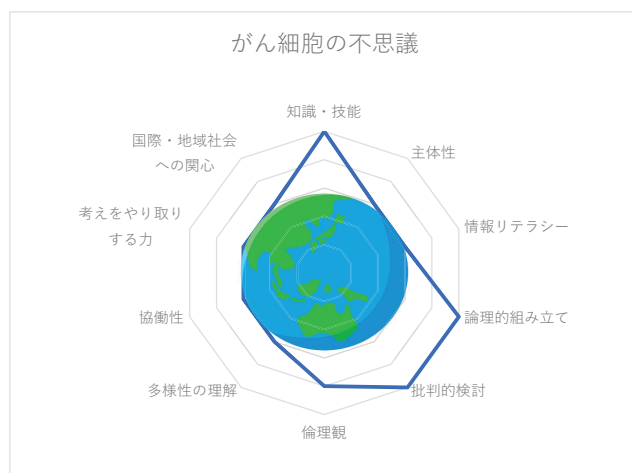
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A3		テーマ名		がんってなんだろう？						
責任部局	医学部医学科		テーマ責任者		池田 裕明						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	がんは地球上の人類全てにとって非常に関わりが深い病気である。がんといかに付き合っていくかは人類が地球上において持続可能で健康な暮らしを営むために極めて重要な課題である。
テーマの趣旨	がんの発生、進展、治療について基本的な知識を身につけ、極めて身近な疾患である「がん」とどのように付き合っていくかを自分で考える力を養う。
学生の皆さんへのメッセージ	本テーマでは、「がん細胞の不思議」について学びます。がんは現在日本人の約二人に一人がかかる病気であり、約三人に一人が癌で死亡する、大変身近な病気です。しかし、どのようにしてがん細胞ができるのか、どのようにして身体中に広がるのか、どのような治療があるのか、についてよく知らない人が多いかと思います。この講義ではこれらについて基本的な知識を身につけて、がんとのように向き合っていくべきか、自分自身で考える力を養ってゆくことを目指します。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
がん細胞の不思議	池田 裕明	がんの発生、進展、治療について基本的な知識を身につけ、理解を深める。	がん遺伝子、がん抑制遺伝子、多段階発がん、転移・浸潤、薬物治療、がん免疫療法	○	○
がんと共に生きる	永田 康浩	極めて身近な病気であるがんの診断や治療の実際について基本的な知識を身につけ、がんと共に生きる社会について議論を含めて理解を深める。	診断、薬物療法、放射線療法、手術療法、緩和ケア、がんとの共生	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



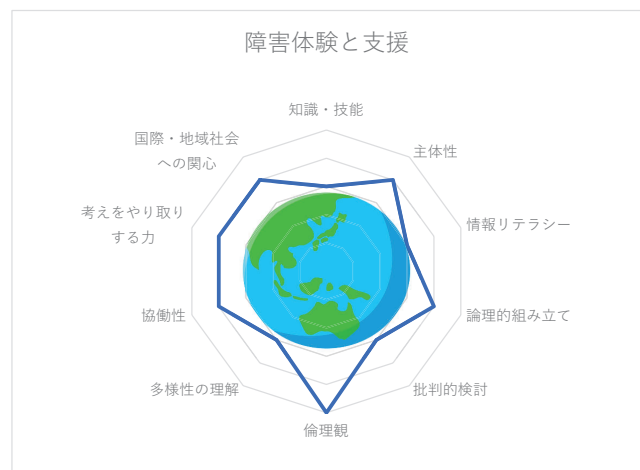
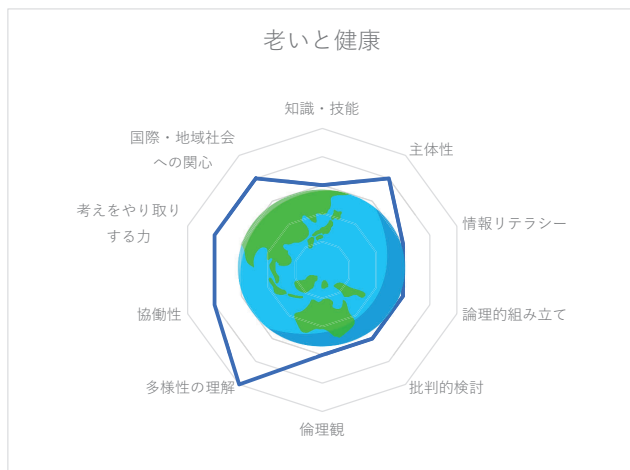
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A4		テーマ名	ハンディキャップの理解							
責任部局	医学部 保健学科		テーマ責任者	井口 茂							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	社会の高齢化に関わる問題について、高齢者の医療・保健・介護の課題だけでなく、人口減少や労働人口の減少にも及ぶこと、さらに家族の在り方、生き方など経済学・社会学・倫理など多岐の学問分野と関係している。また、障がい者についても、高齢者と同様に医療、リハビリテーションに関する課題とともに障がい者自身の就労、居住環境の整備など医学・経済学・工学・教育学など多くの学問体系に関わっており、多様な状況にある人々との共生社会の実現に向けた視点で議論していく。
テーマの趣旨	障がいとは単に医学的な問題だけでなく、心身・活動・参加に関わる生活上の問題として捉える必要がある。そのため、障がいを捉えていく上で障害があってもその人がその人らしく生きられ、社会全体が共に生きるという視点が重要である。本科目のテーマである「ハンディキャップの理解」では「ソーシャル・インクルージョン」、「人権」、「リハビリテーション」の理念を理解し、子どもから高齢者までのすべてのライフサイクルが対象となる。本テーマでは、「老いと健康」と「障がい体験と支援」の2つの科目において、高齢者及び障がい者に関する課題に対して、その社会背景や生活課題を挙げ、そのことが医学・保健はもとより、経済、教育、環境など様々な分野に関係していることを理解し、その課題解決について議論する。
学生の皆さんへのメッセージ	前提とする知識は問いませんが、障がい者・高齢者に関わる生活課題に関心がある方、他学部の学生と協働して学習を進めていくことに関心がある方を歓迎します。本テーマの「障害体験と支援」では教室内だけの学習活動にとどまらずフィールドワークも取り入れますので、受け身の学習態度ではなく積極的な学習態度で臨んでほしいと思います。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
老いと健康	井口 茂	加齢に伴って起こる心身の変化と健康・生活問題について理解する。また、高齢者体験を通して、高齢者の意識について考察していく。	高齢者の心身の健康、高齢者の生活、介護予防	○	
障害体験と支援	東 登志夫	各種障がいの疑似体験を通して障害を理解するとともに、フィールドワークを通して支援の必要性について考察する。	障害、高齢者、支援、斜面		◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



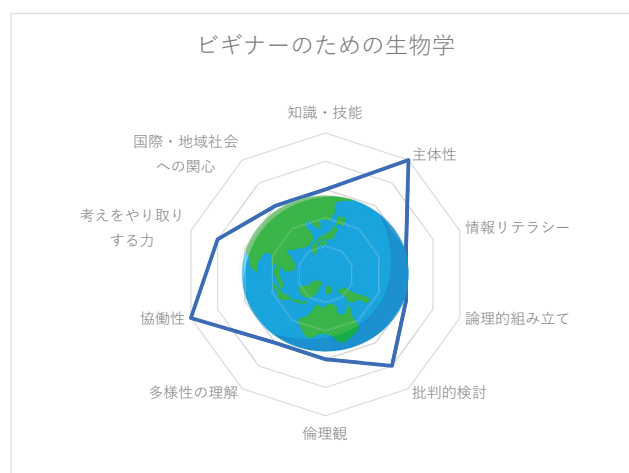
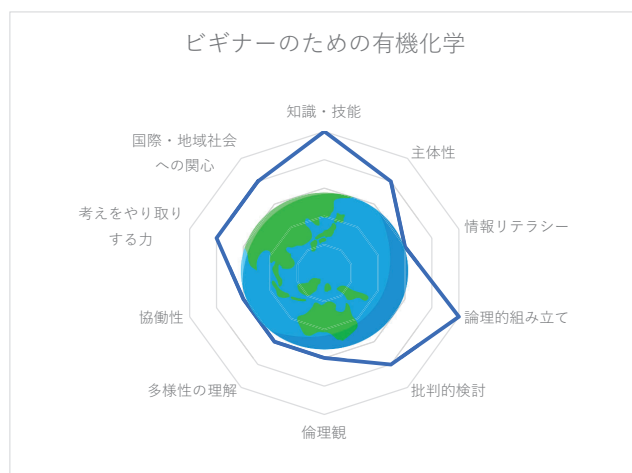
プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-A5		テーマ名		薬と生命科学を理解するための基礎科学						
責任部局	薬学部		テーマ責任者		田中 正一						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○								○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	基礎科学を学ぶことで、生体成分の構造、有機化学反応などの有機化学及び病態メカニズム、バイオ医薬品などの生物学の視点から、プラネタリーヘルスと向き合う。
テーマの趣旨	“生命とは何ぞや”という問いに、明確な答えは無いかもしれませんが。しかし命ある地球上の多様な生物は、化学物質で構成され、すべての細胞や組織では、複雑な化学反応系によって高次の生命活動が営まれ、統御されていることは明確です。薬は、これらの生命活動に直接関与することによって生体内の化学構造や機能の異常を改善するために用いられてきました。また、一方で、期待されない障害を与えたことも事実であり、それもまた薬の本質ともいえます。これまでの人類の病気との戦いの中で発見された薬の歴史も振り返りながら、生命現象と薬のかかわりを学習することにより、生命とは何かを科学的に思考したいと思います。
学生の皆さんへのメッセージ	人類が、薬を見出し、使用してきた歴史は古く、薬と共に歩んできた長い道のりは文化史の一部とも言えます。本テーマでは、どのような薬を飲めば病気が治るのか、どのように使われるのか、といった実用上の知識を得ることを目標にしているのではありません。薬が生体にどのように作用し、病気を治癒することができるのか、どのようにして開発されてきたのか、を正しく理解するためには、化学物質である薬、生体のしくみ、病気の原因などの基本的な知識が必要です。薬というキーワードで、生命現象を共に考察してみませんか。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
ビギナーのための有機化学	田中 正一	有機化合物は、ヒトの生活に欠かせない衣類、食品等様々なものの原料となる。さらに、生体成分の構造も有機化合物から構成され、生命現象そのものも有機化学反応（酵素反応）が織りなすものといえる。この講義では、有機化学の基礎を学ぶ事で、生物の営みや自然現象を有機化学の視点から正しく理解し、説明できる力をつけ、プラネタリーヘルスと向き合う視点を身に付ける。	生体成分の構造、有機化学反応	○	○
ビギナーのための生物学	岩田 修永	細胞やその構成成分、エネルギー代謝、細胞の機能と恒常性の維持、DNAや遺伝子の働き、酵素の働きなど、生物学の基礎やがんなどの疾病の病態メカニズムを学ぶ。さらに、これらの最新の知見や遺伝子組換え技術をもとに開発された最先端医薬品（バイオ医薬品を含む）を例示し、その応用やプラネタリーヘルスと向き合う視点を科学的に考察する機会を持つ。	生物学の基礎、病態メカニズムの理解、バイオ医薬品	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



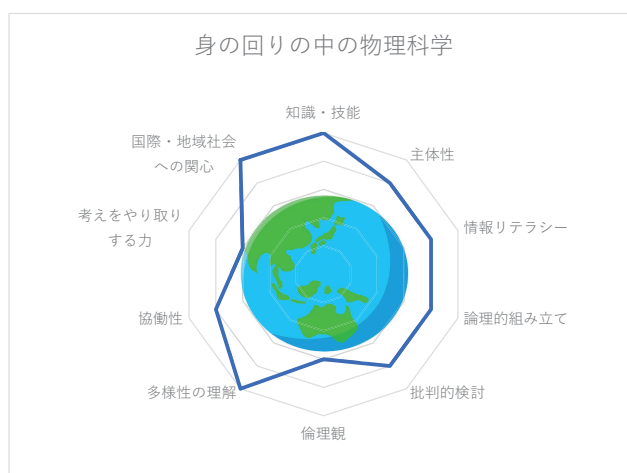
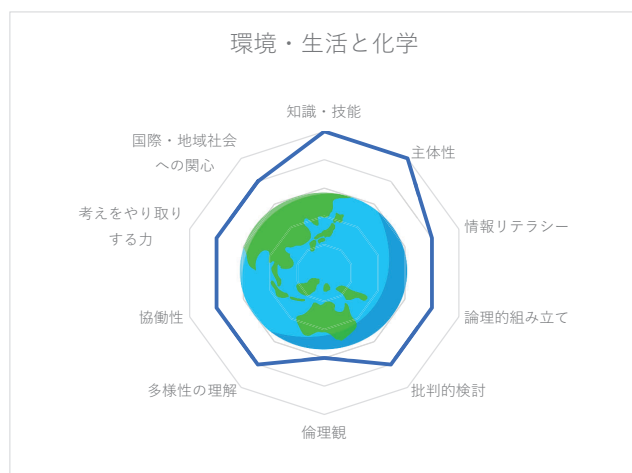
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A6		テーマ名	暮らしの中の科学							
責任部局	工学部		テーマ責任者	大嶺 聖							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	自然科学と技術の発展によって、我々の生活はとても豊かになってきました。技術とは、自然科学の成果を巧みに利用して人間社会に役立てるための仕組みを作ることです。科学技術の限界や危険性を正しく認識すると共に、謙虚な姿勢で自然現象の真理を見抜く目を養うことは、私たちが暮らしていく中で、とても重要なことです。日常生活にも影響を及ぼす地球環境問題や自然災害など、プラネタリーヘルスに関連する内容を含んでいます。
テーマの趣旨	自然の偉大さや美しさに驚きや感動を覚えた経験はありませんか？人類は古くから、自然現象を理解しようと多大な努力を重ねてきました。自然現象は、私たちの生命維持に不可欠な食料・資源の源になったり、時には甚大な災いをもたらすこともあります。そのため、私たちは生きていく上で、自然現象を正しく理解していく必要があります。自然科学とは、自然界で起きる様々な事象の法則性を明らかにする学問です。つまり、自然現象をいかに抽象化し、近似するかを模索する学問です。 本テーマでは、高校において修得しておくべき自然科学の内容を、大学生の視点から多面的に意味づけ再整理した上で、科学的な思考法と方法論の基礎を学び、身の回りの生活や先端科学技術と自然科学との関わりを理解していくことを目標としています。
学生の皆さんへのメッセージ	数学や物理、化学、生物が苦手な方も大歓迎です。 科学の共通ルール（定義）はしっかり理解する必要がありますが、数式を暗記する必要はありません。 地球環境問題の解決のためには、自然科学との関係も理解することが重要です。 自然科学を学ぶことは、“自然現象の言語”を学んでいると言えるかもしれません。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
環境・生活と化学	山田 博俊	地球環境や日常生活におけるさまざまな現象や物質の振る舞いを、原子・分子のレベルから系統的に理解する。また、日々の行動や選択において、化学的・科学的な根拠に基づき判断できることを目指す。	環境、エネルギー、気候変動、リサイクル、食糧	○	○
身の回りの中の物理科学	大嶺 聖	身の回りの生活に関わる、力やエネルギーなどに関する基本法則を学び、身の回りの現象を理解する。また、自然災害や物理・化学・生物と地球環境問題の関係を理解する。	力とエネルギー 自然災害、物理現象 地球環境問題	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



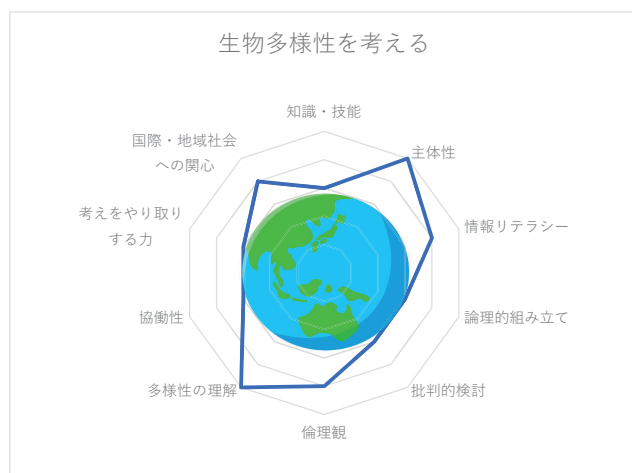
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A7		テーマ名	環境をめぐる諸問題							
責任部局	環境科学部		テーマ責任者	山口 典之							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	生物多様性の保全は私たち自身の健康、地球の健康と直結している。生態系が健全であればこそ、食糧や水の安定供給、気候の調整、生物間相互作用による病害防止や鳥獣害低減など多くの恩恵を受けられる。しかし、人間活動による環境破壊が進めば、生態系のバランスが崩れ、感染症の拡大や連鎖的な種の絶滅などのリスクが高まる。環境思想を深め、持続可能な方法で自然と共存することが、地球と私たちの未来を守る鍵となる。 温室効果ガスの増加による地球温暖化は、異常気象や生態系の変化を引き起こしている。その主因は化石燃料の過剰利用にあり、エネルギー収支の不均衡が進んでいる。一方で、各国の立場は経済状況や政策により異なり、対策の進展に差が生じている。持続可能な未来のためには、再生可能エネルギーの導入促進や国際協力を強化し、地球全体で気候変動に対応する必要がある。
テーマの趣旨	現在、私たちを取り巻く環境問題は複雑さを増し、もはや二項対立の単純な構図の中に解決の糸口を見出すことは困難な状況にある。「生物多様性」ならびに「地球温暖化」をテーマに掲げ、持続可能な社会の実現に資する専門知識の習得を目指す。
学生の皆さんへのメッセージ	文理融合の学際的なアプローチから、環境問題の本質を理解するために有用な技術を学び取ってください。問題解決に当たって、自らの言葉で表現する態度を養って欲しいと願っています。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
生物多様性を考える	山口 典之	地球上に生息・生育する種々の生物がお互いに競争・共存し、現在の複雑で多様な生態系が危ういバランスの上に成り立っていることを複数の事例を元に理解する。その上で、生物多様性の保全が目指すべき方向を学び、生物と人との関連を様々な視点から議論できる知識と素養を養う。	生物多様性、生態系、生物間相互作用、環境思想	○	○
地球温暖化を考える	和達 容子	温室効果のしくみを学び、それに伴う気象および気候の変化を学ぶ。また関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国際間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状を学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。	温室効果、地球温暖化、エネルギー収支、化石燃料、各国の立場		◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



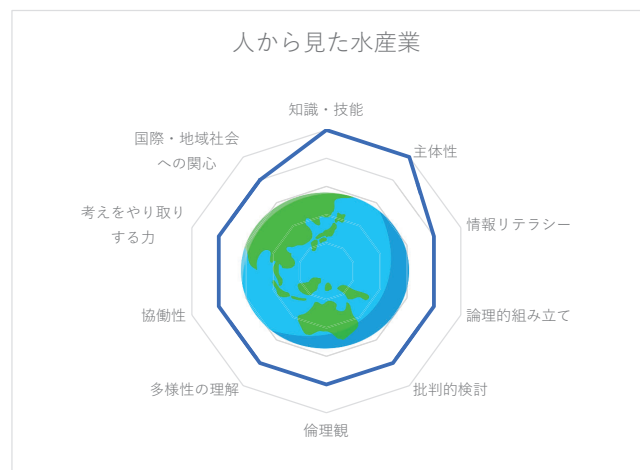
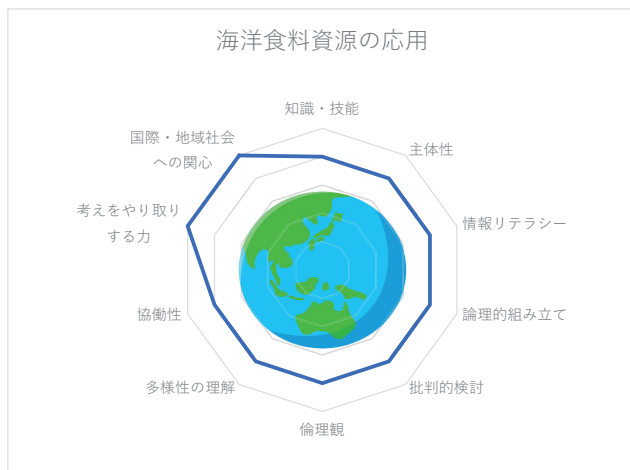
プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-A8		テーマ名		食の安全と持続的な海洋食料資源の利用						
責任部局	水産学部		テーマ責任者		濱田 友貴						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				

プラネタリーヘルスと向き合う視点	本学が展開するプラネタリーヘルスとの関係では、「海・人・生物資源」の関係を知り、考えるものです。「海洋食料資源の応用」では、水産生物について、その鮮度や栄養成分などを有効に活用しながら人の食生活をより衛生的かつ健康的なものにするための加工方法や取り組みについて考えます。「人から見た水産業」では、私たちが魚を利用する際に欠かせない、漁船や漁具（ぎょぐ／魚を獲る道具）・漁法（ぎょほう／魚を獲る方法）という対象生物と水界の特性にじゅうぶん対応できる道具・能力・効率性の他に、環境への配慮や安全性について考えます。
テーマの趣旨	海洋は生物、鉱物、エネルギーなど様々な資源の宝庫です。環境共生型社会の実現には、これらの貴重な資源を持続的に利用する必要があります。このテーマでは長崎県で見ることができる事例を織り交ぜながら、海洋生物資源の生産・管理・食品利用、持続可能で効果的な資源利用に関する様々な切り口と海洋に対する現代社会の諸課題を学びます。海洋と海洋生物の科学についての文系・理系の枠を超えて多面的に学習することで幅広い教養を身につけ、環境と調和した持続可能な社会の実現のためにどうすればよいのかを考えられるようになります。
学生の皆さんへのメッセージ	海と海の生物に深い関心があり、主体的な学習意欲を持つ方を歓迎します。 授業内容を良く理解するためには、高校卒業程度の理科に関する知識を持っていることが好ましい。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
海洋食料資源の応用	濱田 友貴	長崎県の水産物や水産加工品を中核に、栄養成分とその変化、鮮度と製造、さらには、衛生管理、安全確保に関わる諸問題を理解することで、食に関する今日的な課題にどう対処したら良いかを考えます。	水産物・水産加工品・栄養成分と変化・鮮度・食品衛生		○
人から見た水産業	清水 健一	漁船と漁具・漁法には安全性・効率性・環境への配慮が、漁獲と価値形成には流通や経済の視点が欠かせません。これらを切り口に、a)漁獲の対象となる生物が生息する海洋生態系、b)日本では少なくとも縄文時代からヒトだけが持つ道具作成能力に由来する漁具や漁船に関係する歴史と現状、c)産業として見る経済学的視点、から話題を提供します。高等学校での生物、物理、公民のかかわりが深い科目です。	人間（私たち）の社会・水産・漁業・道具・船と航海・漁船漁業・資源と環境・食料問題・持続性	○	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



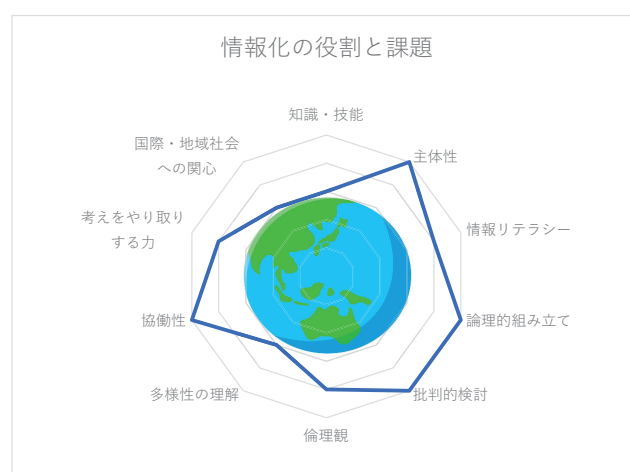
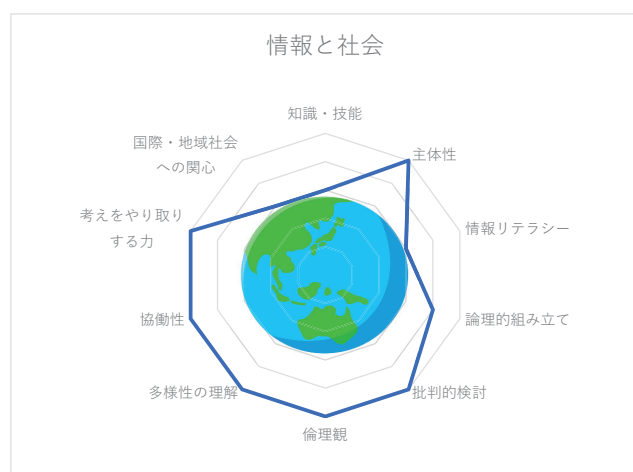
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A9		テーマ名	情報社会を考える							
責任部局	ICT基盤センター		テーマ責任者	丹羽 量久							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	学習成果を受講者間で相互評価する課題に繰り返し取り組みます。数多くの他者の意見に触れる機会を得て、自分では気づかない視点があることに気づきます。その有効性が内発的動機づけを誘発し、メタ認知を働かせて自ら学習成果を改善していくプロセスを実践するように行動変容できます。一人一人が特定の立場にとらわれない多面的な視点で課題に向き合っていくプラネタリーヘルスマインドを養います。
テーマの趣旨	現代の情報社会を積極的に生きるためには大量の「情報」をうまく活用していかなければなりません。本テーマでは、こうした情報社会に適応するために、情報が実社会ではどのように利用されているのかを多角的に知り、かつそれを解釈・活用・表現するための方法について学びます。
学生の皆さんへのメッセージ	今日の社会では、大学での学習・研究だけでなく、どんな場面でも「情報活用」が不可欠になっています。皆さんが卒業後の社会生活においても活躍していけるよう、本テーマにてさまざまな知識と技能を身につけてください。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
情報と社会	丹羽 量久	授業では、四名の教員がそれぞれの専門分野を取り上げて、実社会における「情報」について講義し、皆さんに問いかけます。この問いかけに応える形で自分の考えをまとめ、さらに、受講者間の相互評価から自分の考えを洗練させます。	受講者間の相互評価 学習成果の改善	○	○
情報化の役割と課題	丹羽 量久	情報化により時間的・集積的・共有的などさまざまな価値が生まれます。情報社会における情報化の役割・価値・課題について理解したうえで、この社会で実際に情報化された事例を取り上げて、その価値・応用について調べ、考えます。受講者全員が自分の学習成果について3回プレゼンテーションし、受講者間の相互評価を参考にして、学習成果のブラッシュアップに取り組みます。	学習成果の改善 メタ認知		○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



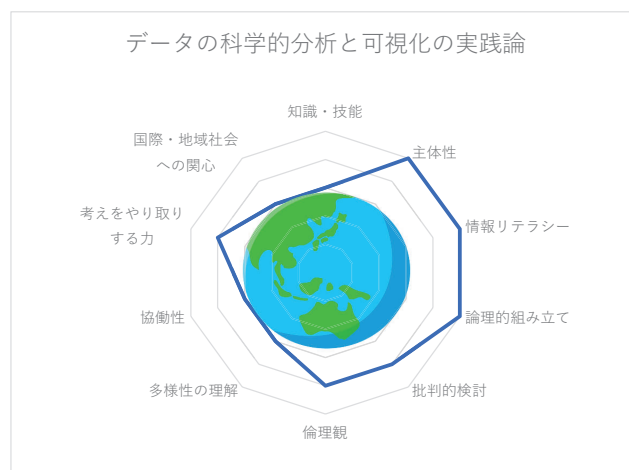
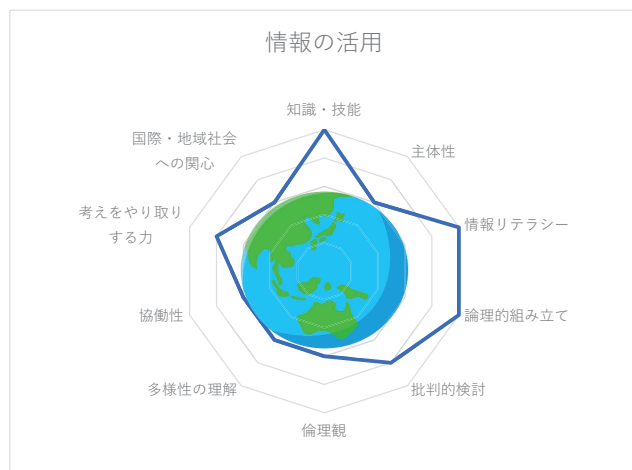
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A10		テーマ名	暮らしに活かす情報技術							
責任部局	ICT基盤センター		テーマ責任者	太田 啓介							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	データは社会や環境の変化を映し出し、持続可能な未来を考えるための重要な手がかりです。膨大な情報を整理し、科学的に分析することで、社会の課題を的確に捉えて本質を見極め、より良い未来を築くことができます。環境・社会・経済のつながりを理解し、データを根拠に意思決定を行うことで、課題を自分ごととして捉え、論理的に考え、持続可能な社会の実現に向けた具体的な行動につなげる力を養います。
テーマの趣旨	現代社会では、情報技術の発展が私たちの生活や社会の仕組みに大きな影響を与えています。デジタル化が進む中で、環境・社会・経済に関するデータを適切に収集・整理し、情報を的確に伝える力（情報の活用）と、科学的に分析し、意思決定に活かす力（データの科学的分析と可視化）が求められています。本テーマでは、情報を整理し、効果的に伝える技術を学ぶとともに、データの分析・可視化を通じて、社会課題の解決に向けた実践的な視点を養います。情報とデータを適切に扱う力は、ビジネスや研究、政策立案など、さまざまな分野で必要とされており、本テーマを通じて、社会の課題を的確に捉え、論理的に考察し、正確に発信できるスキルを身につけます。
学生の皆さんへのメッセージ	本テーマでは、情報とデータの活用を通じて、実社会における課題解決のための視点を養い、より良い意思決定ができる力を身につけることを目指します。情報技術を使いこなし、データを読み解く力を培うことは、将来のあらゆる分野で役立つ重要なスキルとなるはずです。情報やデータの扱いに自信がない人も、これから学びを深めたい人も、新しい知識を得て実践することで、自分の視野を広げることができると思います。日常生活の中で情報を活かし、データを通じて社会をより深く理解する力を、一緒に学んでいきましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
情報の活用	丹羽 量久	本授業では、自身の考えを正確に伝えるためのポイントについて学ぶとともに、整った報告書（レポート）の効率的な作成に欠かせないデジタル文書作成技法を取り上げます。また、多種多様な情報を解釈・活用するための処理技術や手法として、データ分析に応用できる中級レベルの表計算技法とその可視化技法について演習を交えながら学びます。	情報の整理と科学的な分析の基礎	○	
データの科学的分析と可視化の実践論	太田 啓介	本授業では、データの整理・可視化・分析の基礎を学び、情報を適切に扱うスキルを習得します。まず、Excelを用いてデータの整理や統合、可視化の基本を学び、その後、ビジネスインテリジェンス・ツール（BIツール）を活用し、より高度なデータの可視化や分析に取り組みます。これらの実践的な演習を通じて、データの構造を理解し、統計的な視点を取り入れながら、情報を的確に整理・解釈する力を養います。また、データを基に論理的に考察し、効果的に伝える方法を学ぶことで、研究や社会課題の解決に役立つ情報活用能力を高めます。	データを根拠に意思決定を行う		○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



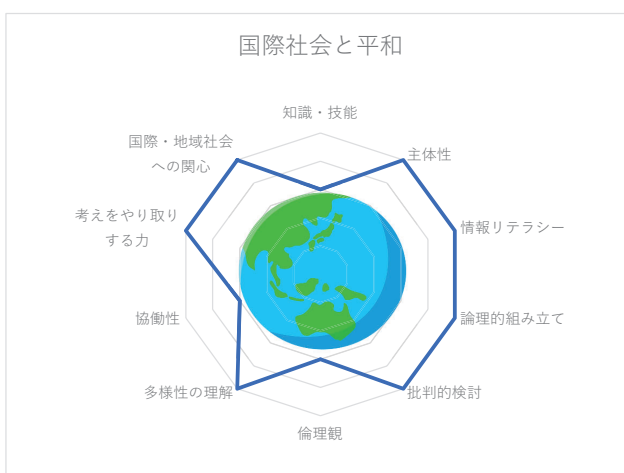
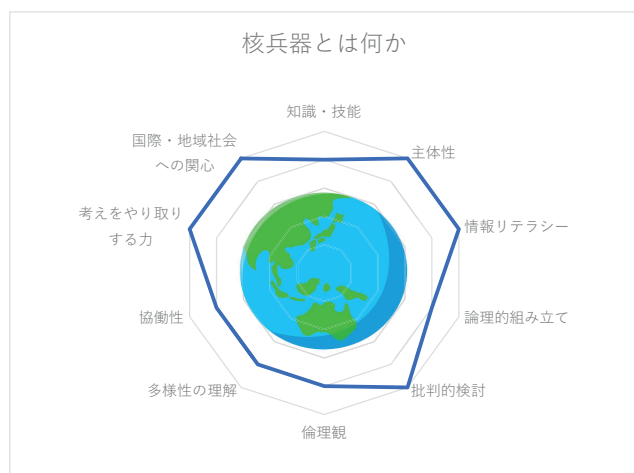
プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-A11		テーマ名	核兵器のない世界を目指して							
責任部局	核兵器廃絶研究センター		テーマ責任者	中村 桂子							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	その使用が人類滅亡に繋がりうる核兵器の廃絶は、まさに地球の健康・安全と直結した人類的課題である。米国・ロシアの間での核戦争を想定したあるシミュレーションでは、攻撃開始からわずか数時間で、死傷者数が9千万人以上に上ると推定している。インド・パキスタン間のような局地的な核戦争であっても、地球規模の気候変動と食糧生産の低下をもたらす、その結果として20億人が飢餓に陥るというデータもある。また、世界各地で繰り返されてきた核実験は、環境を汚染し、人々の健康を脅かすだけでなく、地域コミュニティや伝統文化の破壊をもたらしてきた。このように核兵器問題は、環境や経済、人権、ジェンダーといったグローバルなテーマと密接に関係している。本モジュールでは、核兵器の問題を、広島・長崎の原爆体験を起点とするローカルと、現在の世界の最前線の動きを見据えたグローバルの両方の視点から深掘りしていくことを目指している。
テーマの趣旨	広島・長崎の被爆から80年を経てなお、核兵器の廃絶と恒久平和の実現は人類の悲願であり続けている。その中で世界唯一の被爆医科大学を創基に持つ長崎大学として、「核なき世界」の実現は大学の存在意義の根源に関わる課題であるが、長崎大学に学ぶ学生としても共有すべき認識となることを願う。 本テーマは被爆地長崎で、広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さないために、核兵器の廃絶に求められる具体的な知識やアプローチを様々な角度から学ぶことを目的とする。その際、国際政治学・国際法・社会学・倫理学・教育学・環境・経済・平和学など幅広い学問分野の基礎にたつて学び、考察する。
学生の皆さんへのメッセージ	核兵器の問題をめぐり、いま世界は大きな試練に直面しています。ロシアによるウクライナ軍事侵攻、そして核使用リスクの高まりは「核兵器のある世界」の危険性をまざまざと示しました。事実、世界には未だ1万2千発もの核兵器が存在し、核兵器廃絶実現の兆しは見えません。被爆者ら世界中の市民が訴えてきた核兵器廃絶がなぜ未だに実現できないのでしょうか。そして、どのようにすれば実現できるのでしょうか。本テーマでは、そうした素朴な「なぜ」に答えるとともに、「過去」「現在」「未来」を結びながら、核兵器廃絶への具体的な道筋をみなさんと考えていきたいと思ひます。長崎大学に学んだことの証となるようなオンリーワンのテーマです。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーマ	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
核兵器とは何か	中村 桂子	「核兵器」とは何か、その基本的な仕組み、広島・長崎での実際を含むその効果、抑止概念、核兵器政策の歴史の変遷と現状、核軍備管理・軍縮・不拡散努力の歴史と現状、市民社会の動きなどを学ぶ。	戦争、環境、経済、人権、ジェンダー、ローカルとグローバル	○	◎
国際社会と平和	河合 公明	この授業では、国際社会の基本的な特徴とその分析方法の基礎を学び、核抑止論と核廃絶論の双方について考えを深め、国際社会の平和について、国際政治と国際法の観点から、自分なりに筋道を立てて議論する力を養うことを目指します。	核兵器の使用、安全、長崎、原爆体験		◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



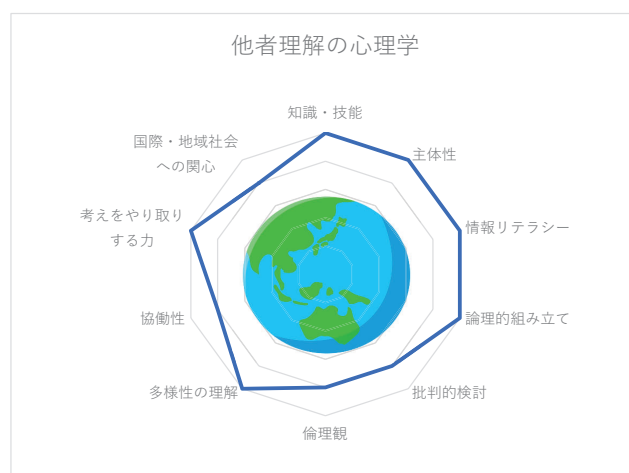
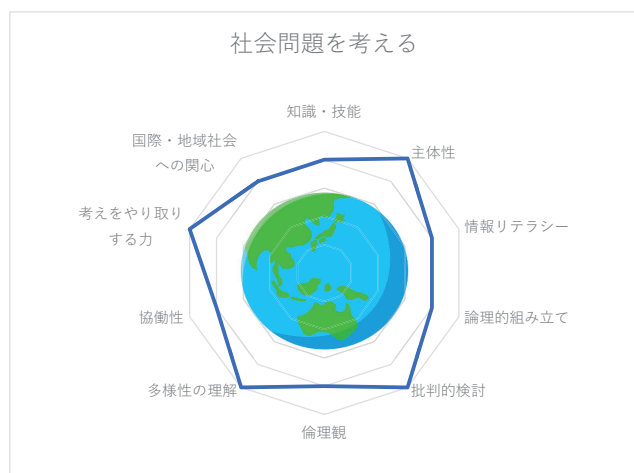
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A12		テーマ名	他者や社会と関わる							
責任部局	教育開発推進機構		テーマ責任者	當山 明華							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	社会や集団が抱える問題について、教育社会学と心理学の知見を用い、様々な同士がグループワークを行うことによって、相互理解をし、新たな解決策を探ります。社会学の知見として、文化的再生産、学校文化、教育格差、ジェンダーなどの視点から、心理学の知見として、思考パターン、意思決定、対人コミュニケーション、社会的ジレンマ、論理的思考などの視点から社会や集団が抱える問題について考えていきます。
テーマの趣旨	人が他者や社会と関わる際には、相互理解は必要不可欠なスキルです。このスキルを獲得するためには、他者および社会との関係性の理解が重要となります。我々は皆、社会の中で生きる一員として、既に存在する社会の中で育ってきます。つまり我々は、他者や社会のなかで今の自分になってきたともいえるのです。したがって、相互理解についての実践力を高めるためには、普段当たり前にとらえている他者及び社会と関わる状況を明らかにし、その上で各自のスキルをより機能的なものにしていくことが有効です。本テーマでは、社会における相互理解を理論的に理解し、基礎的なスキルを高めつつ、実践力向上を目指します。前半で社会学の分野から他者や社会で起こる事象について理解し、後半は心理学の分野から自己との対話を含む他者との関わりについての深い理解に基づいた実践力向上を目指します。
学生の皆さんへのメッセージ	大学や社会等での相互理解に必要なとされる思考力・分析力など、様々な基礎能力を育成することを目指しているため、積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが強く求められ、授業後の課題提出も重要です。グループワーク内での積極的な発言、さらに授業内での気づきをリフレクションや課題で提出してもらい、その内容を評価します。そのため、受動的に授業を受けたい人には大変不向きな授業です。その点に留意して受講してください。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
社会問題を考える	岡田 佳子	人間関係に絡む現代的な諸問題について学修し、グループワークを通じて解決に向けた方策を考えていく。また、そこでの関わりから、人の多様性について考える力を身に付ける。	文化的再生産、学校文化、教育格差、ジェンダー		○
他者理解の心理学	當山 明華	自己と他者とのコミュニケーションだけでなく、自分自身とのコミュニケーションについての理解を深める。グループワークを通して、人の多様性や社会との関わりを理解し、生活に活かす。	思考パターン、意思決定、対人コミュニケーション、社会的ジレンマ、論理的思考	○	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



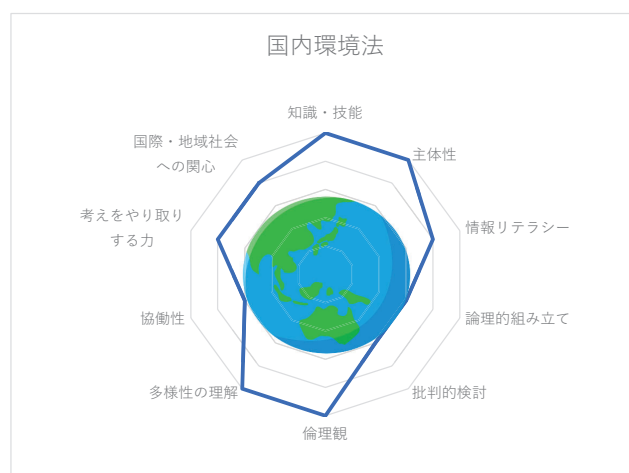
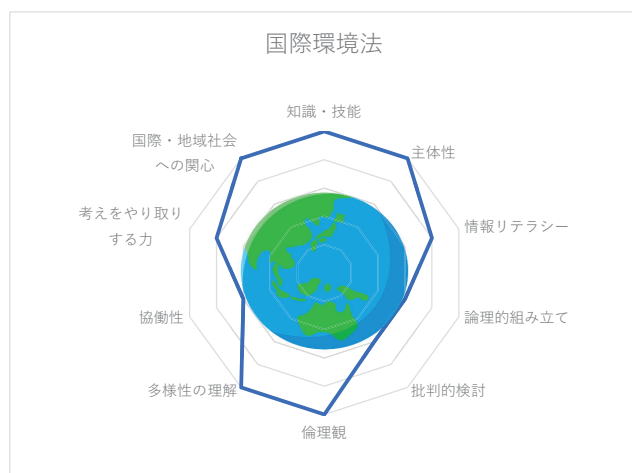
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A13		テーマ名	環境と人類の持続可能な発展							
責任部局	研究開発推進機構		テーマ責任者	竹下 哲史							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	近年では、日常的に環境に関する様々な事象がメディア等を通じて報じられています。環境問題の基本的な考え方や環境関連の国際法・国内法の精神を理解することは、プラネタリーヘルスへの強い動機付けになります。
テーマの趣旨	21世紀市民のコモンセンスとして、環境配慮への理解と環境保全に関する基本的な知識を修得し、人類の持続可能な発展（sustainable development, SD）を実現するための基本的な姿勢を身につけることを目的としています。そのため、環境問題の考え方や環境関連の国際法及び国内法の精神を理解するとともに、環境教育・環境コミュニケーションの重要性を理解してもらいます。
学生の皆さんへのメッセージ	私たち21世紀市民が目指すのは、人類の持続可能な発展（sustainable development, SD）です。そのためには、環境保全に関する基本的な知識が必要です。それらは、21世紀市民が教養として身につけておくべきコモンセンスです。また、国連サミットで採択された2030年を年限とする持続可能な開発目標（SDGs）を達成するためにも必要です。本テーマは、そのような観点から環境保全に関する理解と基本的な知識について学習します。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
国際環境法	竹下 哲史	環境問題に対する考え方、環境法（国際法）の歴史と特質、およびそれらの概要について学習し、環境問題の基本的な考え方や国際環境法の理念・精神についての理解を深めてもらいます。 授業は、科目責任者に加え、久保隆（環境科学部）、山下敬彦（放送大学）で担当します。	環境問題の基本的な考え方 環境関連の国際法		○
国内環境法	竹下 哲史	日本における環境問題とそれらに対する施策の考え方や歴史、国際環境法との関係ならびに日本における環境に関する基本的法律である「環境基本法」等について学習し、進むべき方向やとるべき行動等について理解を深めてもらいます。 授業は、科目責任者に加え、久保隆（環境科学部）、山下敬彦（放送大学）で担当します。	環境関連の国内法	○	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



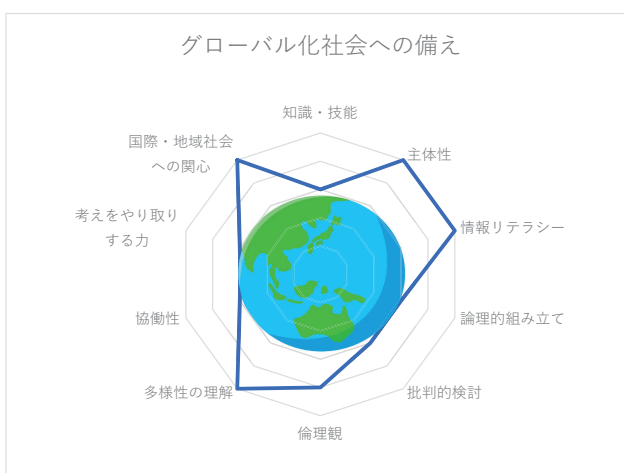
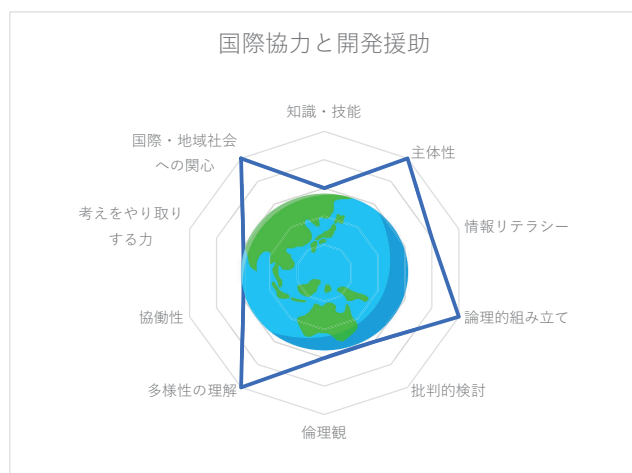
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-A14		テーマ名	国境を越えていけ！							
責任部局	グローバル連携機構		テーマ責任者	遠山 峰司							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	今我々が目の当たりにしている紛争や気候変動等の地球規模の課題は、一つの国家では解決できません。我々一人一人が国と国との国境を越えて物事を考え、「日本人」と「外国人」といった心の中の国境を取り払って、共に行動していくことが、国際的な協力をより深化させていくことにつながります。この科目では、プラネタリーヘルスに取り組むための国境の越え方を一緒に考えていきます。
テーマの趣旨	この科目では、国際協力という視点からグローバル社会をより深く理解するための知識と教養だけでなく、自らの考えを伝え、相手の考えに共感できる相互理解を進める方法を身につけます。具体的にはグローバル社会の多様性を理解するために、地球上で今なお貧困による経済、社会的困難に苦しんでいる人々に対して世界がどのように対処しているかを開発援助の面から学びます。そして、現代社会で求められる異文化とのコミュニケーションも受講することによって、グローバル化された世界における社会の状況とそこで活躍するために求められる能力は何か理解を深めます。
学生の皆さんへのメッセージ	グローバル化が急速に進展する中、日本人も異なる文化、歴史、習慣を持つ人々との社会での共生と無縁ではられません。従って、これからは日本社会もグローバル社会の一部であるという認識が必要であり、この科目では国境、国家にとらわれず地球規模で活躍する人材の育成を目指しています。そこでは語学力だけでなく、自身が目指す人材に必要な基礎的な知識や教養、更には国籍問わず社会背景、文化が異なる人々とのコミュニケーション能力を持つことが求められます。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
国際協力と開発援助	遠山 峰司	感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの国では対処困難な課題が山積しています。本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、事例に関する基礎的な知識を身に付け、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明できるようになることを目指します。	地球規模の課題、国際協力	○	◎
グローバル化社会への備え	清田 智子	本講義では、グローバル化した社会を生き抜く上で必要な知識や情報収集の方法を学びます。外国人と一緒に働く際に知っておいた方がよいマナー、海外で働く際の注意事項、国際的に働く際のCV（職務経歴書）の書き方や仕事への応募の方法やビザの問題等、様々な視点から実践的にグローバル化社会に備えていきます。	国境、外国人	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



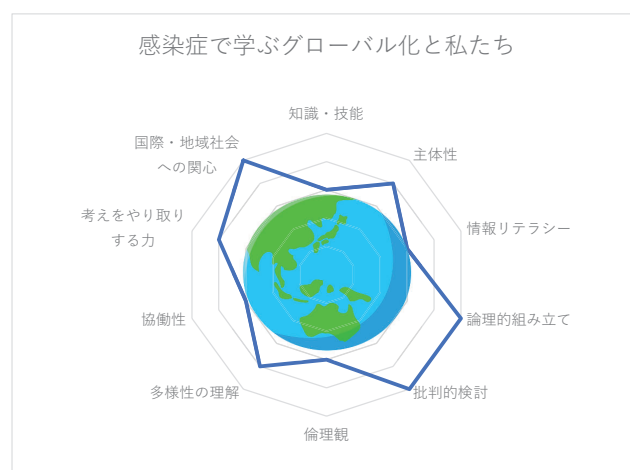
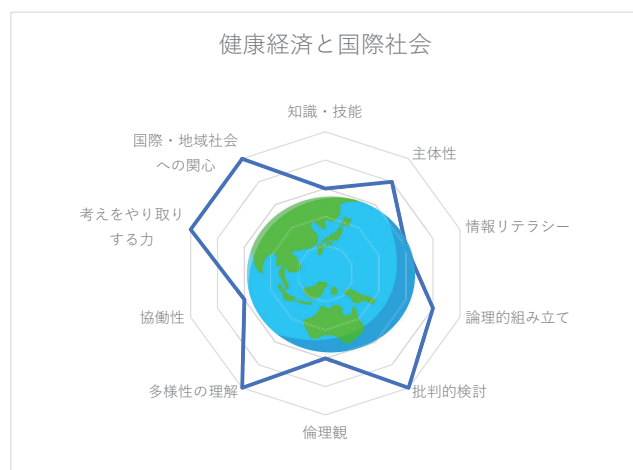
プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-A15		テーマ名		プラネタリーヘルスと人間の健康						
責任部局	グローバル連携機構		テーマ責任者		蓋 若瑛						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
	○	○	○				○				○

プラネタリーヘルスと向き合う視点	本テーマは、地球環境と人間の健康の相互関係を理解し、グローバルな課題に対応するための視点を養うことを目的とする。「健康経済と国際社会」では、医療・社会保障制度、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、健康格差といったテーマを取り上げ、健康経済の視点から持続可能な医療システムの課題を考察する。一方、「感染症で学ぶグローバル化と私たち」では、感染症が地球規模のさまざまな社会的要因（人口増加、都市化、戦争・紛争など）、経済的要因（貿易、所得格差、貧困など）、環境的要因（気候変動、土地開発、都市開発など）とどのように相互作用しているのか、歴史的事例を用いて批判的に考察し、新興感染症やパンデミックに備えた感染症対策について議論する。これらの講義を通じて、学生はプラネタリーヘルスの視点から、国際社会が直面する健康課題を多角的に理解し、問題解決のための知識と批判的思考力を養うことを目指す。
テーマの趣旨	本テーマは、地球環境の変化が人間の健康に与える影響を理解し、環境・社会・経済の要因を統合的に考えながら、持続可能な社会の構築に向けた包括的な理解と分析能力を養う。医学、経済学、社会科学、環境科学などの学際的な視点を取り入れ、グローバルな視点で健康と持続可能性のバランスを考え、将来の課題解決に向けた実践的な知識とスキルを身につけることを重視している。
学生の皆さんへのメッセージ	本テーマでは、グループディスカッションを通じて、意見を交換し、異なる視点を学ぶことを大切にします。これから大学で専門的な知識を学ぼうとしているみなさんが、それぞれ関心ある視点から「地球の健康とヒトの健康」のあり方を考察し、自分の意見を論理的に構築できるようになることを目指しましょう。「健康経済と国際社会」では、英文の報告書やYouTube動画を活用するため、英文を読む意欲があることが望ましいですが、英語力に自信がなくても、講義内でサポートを行いますので安心してください。「感染症で学ぶグローバル化と私たち」では、歴史的事例（天然痘、ペスト、スペイン風邪、HIV/AIDS、COVID-19など）を取り上げますので、歴史や文化に興味がある方も歓迎します。「健康」は医療や公衆衛生だけの問題ではありません。多様な学生の皆さんの受講を期待しています。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
健康経済と国際社会	蓋 若瑛	本講義では、社会保障制度とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の概念と役割をグローバル社会の視点から理解し、健康経済の観点からその課題と持続可能性を学部生に理解してもらう。気候変動・大気汚染などの環境変化が社会保障制度に及ぼす影響に焦点を当て、国際機関の報告書や最新のデータを活用しながら、医療アクセスや健康格差の実態を分析すること、また、YouTube動画などの視覚教材を用いたケーススタディやグループディスカッションを通じて、実際の政策課題に対する批判的思考力や問題解決能力を養うことを目的とする。国際社会における健康政策や医療経済の基礎を学びながら、持続可能な社会保障制度のあり方について議論する。	気候変動・大気汚染など健康の環境要因、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、健康と保健財政、保健医療体制	○	◎
感染症で学ぶグローバル化と私たち	森保 妙子	本講義では、感染症がさまざまな社会・経済・環境要因とどのように相互作用しているのかを歴史的事例で紐解く。人類の歴史上、都市化、経済活動、戦争、気候変動などは感染症の発生・拡大・制圧に大きな影響を与えた。グローバル化がさらに進んだ現代では、新たな感染症やパンデミックの脅威が増大し、その影響は瞬時に地球規模に拡大する。歴史的事例を通じて学んだことをもとに、感染症対策を経済、都市計画、国際協力、環境保護などの幅広い観点からグループで議論し、学生それぞれが自分なりの意見を探求する。	感染症、パンデミック、人口増加、都市化、戦争・紛争、貿易、所得格差、貧困、気候変動、土地開発、都市開発	◎	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



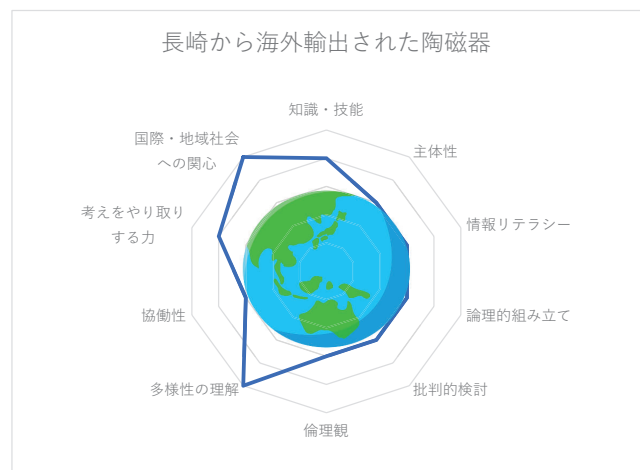
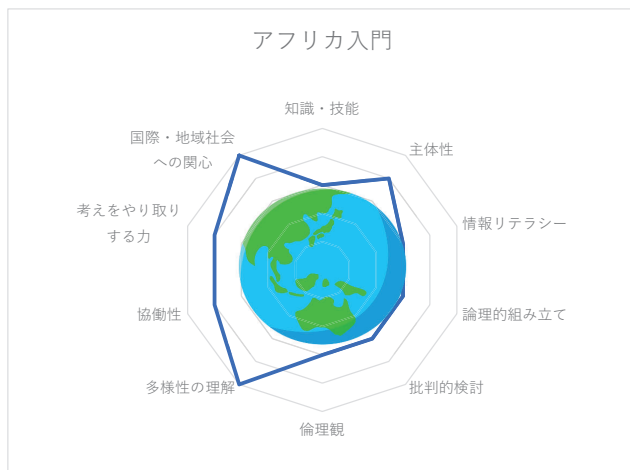
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B1		テーマ名		日本を知り、世界を知る						
責任部局	多文化社会学部		テーマ責任者		佐藤 靖明						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	プラネタリーヘルスという地球的課題と向き合うためには、文理の別を越えて、さまざまな物事・知見の関係を探ろうとするマインドが重要となる。このテーマでは、人類学、地理学、歴史学、考古学といった学問分野を軸とし、自然と文化の両方を視野におく。そして、日本と世界を相対化して関係を追究することをとおして、そのようなマインドを養っていく。
テーマの趣旨	グローバル化が進展する中で、私たちはこれまで以上に「世界を知る」必要に迫られている。また、世界を知るための比較参照軸として「日本を知る」ことも求められている。このように世界と日本を知ることは、地球的な視点を得ることや、自己のアイデンティティに対する考えを深めることにもつながっている。 本テーマでは、アフリカや日本の事象をとりあげ、さまざまな時空間スケールから世界と日本の関係を考察することで、多様な他者と同時に多様な自己をも理解することをめざす。そこから、グローバル化にともなっている様々な多文化状況に適応する素養と思考力を身につけることが本テーマの教育目標である。
学生の皆さんへのメッセージ	グローバルな人になるにはどうしたら良いでしょうか。まず、自分の知らない文化や歴史に興味を持ち、共感をもつことが第一歩になります。そして、単に多くの知識を得ることだけでなく、他者との関係を想像し、自己を相対化させながら変容させていくことが次のステップとなります。このテーマの学びをとおして、ぜひ自分を変えるきっかけをつかんでください。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
アフリカ入門	佐藤 靖明	アフリカは、自然・人類の多様性、さまざまな魅力や地球的課題が凝集した大陸である。そして、21世紀は「アフリカの世紀」とも言われている。この科目では、アフリカへの知的関心を高めながら、アフリカの特徴を理解するために必要な基礎知識を、対話をとおして学んでいく。そして、一歩進めて「私たちにとってアフリカとは何なのか」について議論するための力を養う。	地球的課題 自然と文化 人類学 地理学	◎	○
長崎から海外輸出された陶磁器	野上 建紀	江戸時代、長崎から世界に向けて多くの陶磁器が輸出されていた。唐船やオランダ船によってアジア、ヨーロッパに運ばれただけでなく、スペイン船によってアメリカ大陸へも運ばれていた。世界に運ばれた陶磁器を通して当時の日本と世界のつながりをみていく。	物質文化 交流 考古学 歴史学	◎	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



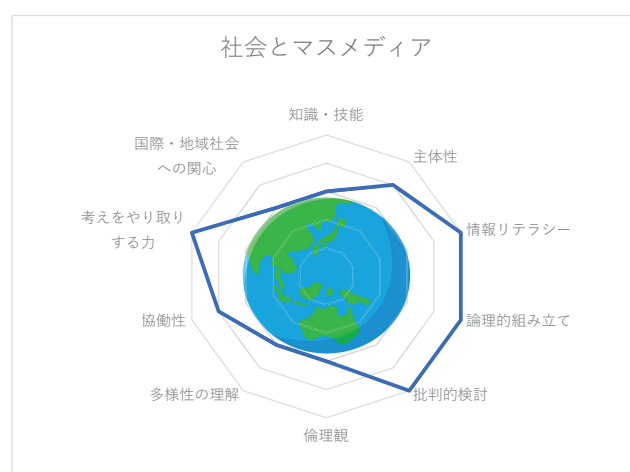
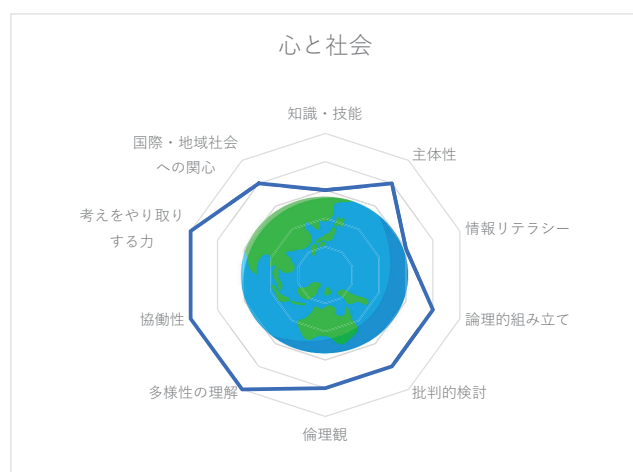
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B2		テーマ名		変わり行く社会を生きる						
責任部局	教育学部		テーマ責任者		内野 成美						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	社会の変化は、これまで私たちが経験したことのない速さで、かつ大規模に進んでいます。また、本学が取り組むプラネタリーヘルスとは、「地球の健康」を支え続けるために有効な問いをし続け、解決しようとするための技術を学ぶものです。本テーマでは、私たちの身近に起こっている社会の変化を、心理、社会、多様性の理解、そして価値観という4つの視点から紐解いていきます。そして、変化する社会の中でいかに生きるか、また将来目指すべき社会の姿やよりよく生きる自分の姿について考えます。
テーマの趣旨	この授業では、自分も含めた“個”に対する肯定的な視線の向け方や、同時に社会の一員として俯瞰する力を身につけ、情報化社会の中の多様なメッセージに対するしっかりとした判断力の育成についてしなやかに考えていくことを目的としています。
学生の皆さんへのメッセージ	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人ひとは異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本プラネタリーヘルス科目では、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
心と社会	内野 成美	臨床心理学の視点から、コミュニケーションや多様性への理解を深める。また、発達障がい、対人緊張など、様々な対人関係の困難が生じる事例をもとに、共感的理解・傾聴・カウンセリングの役割を知り、相談の意義を理解する。	共感的理解、傾聴、コミュニケーション、社会人基礎力、臨床心理学	○	◎
社会とマスメディア	矢野 香	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットなどのマスメディアを取り上げる。ことばや映像などの「伝え方」の工夫を理解するとともに、自身がSNSなどのメディアに情報発信を行う際に活用できるようになることを目指す。また、情報を批判的に受け取り論理的に考える態度の育成を図る。	マスメディア、マイメディア、オールドメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット	◎	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



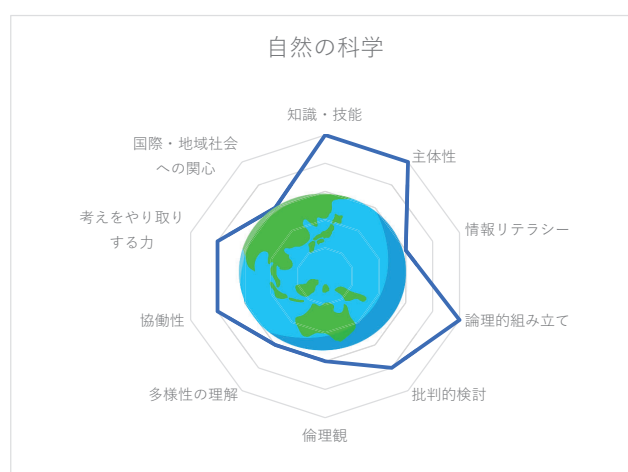
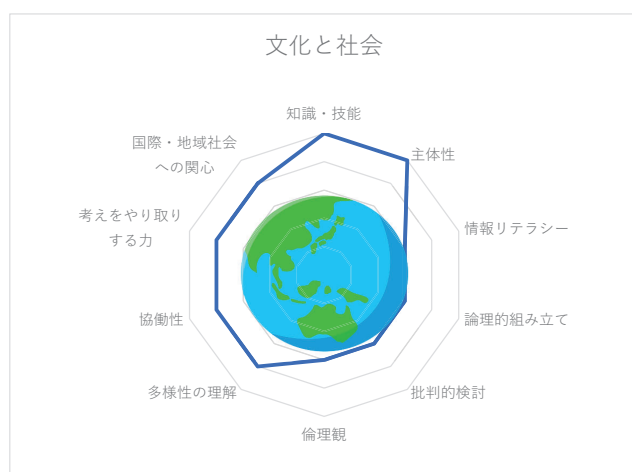
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B3		テーマ名		現代の教養						
責任部局	教育学部		テーマ責任者		工藤 哲洋						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	人文科学や自然科学の学修を通して、プラネタリーヘルスについて考えるための基盤を養う。人文科学では明治維新期の歴史やことばについて学び、自然科学では宇宙、恒星、地球について学ぶ。
テーマの趣旨	21世紀のグローバル社会を生きる人々には、単に自己の専門分野の知識を深めるだけではなく、広く人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、真の意味での教養人であることが求められます。本テーマの授業では、人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識や研究方法を修得し、将来、それぞれの分野でより深い知識や研究態度を身につけるための基盤を育みます。
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、現代を生きる教養人をめざしてください。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
文化と社会	田口 由香	明治維新期の歴史やことばを学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。	明治維新、歴史、ことば	○	○
自然の科学	工藤 哲洋	教養としての天文学を学ぶ。宇宙と自分とのつながりを認識し、自然との関わり力を培う。	宇宙、恒星、地球		

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



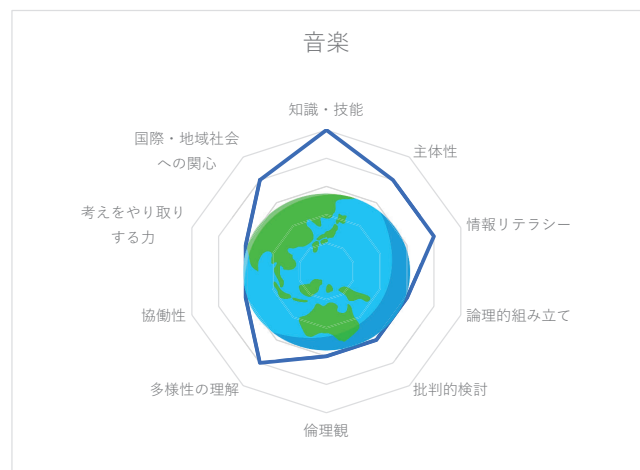
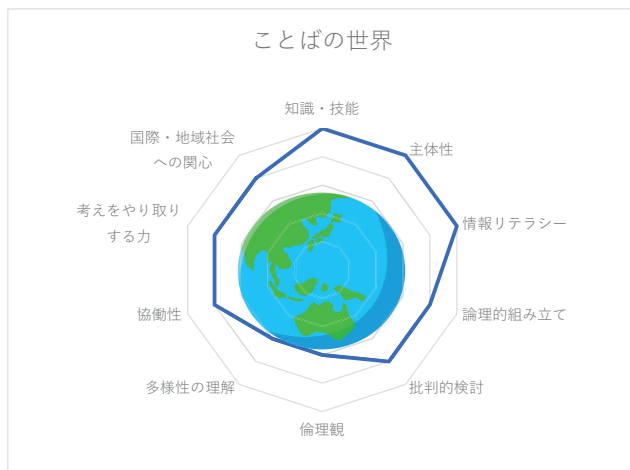
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B4		テーマ名		芸術と文化						
責任部局	教育学部		テーマ責任者		松元 浩一						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	産業革命以降、社会の近代化が急速に進展し、とりわけ20世紀中頃から地球上では気候変動や自然災害、森林開発等の影響により、地球全体の生命環境を揺るがす現象が数多く生じている。今日のさまざまな課題の解決に向けて、私たち自身の意識や行動を見直し、知識、技能、思考、判断、表現のより良い在り方を模索し、探求し続ける必要があると考える。
テーマの趣旨	21世紀のグローバル社会を生きる学生は、さまざまな課題の解決に向けて、単に自己の専門分野の知識を深めるだけでなく、広く領域横断的に人文・社会科学や教育科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、さらに、国立大学の学生として、芸術も理解・表現できるような、真の意味での見識ある教養人であることが求められている。本テーマでは、人文・社会科学・教育科学の基礎知識や研究方法、芸術の理解・表現方法等について、大学生に求められる教養や知識や研究態度を涵養することを目的として開設する。
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、21世紀を生きる教養人を目指してほしい。本授業では、唱歌・童謡・歌曲と歴史・風土等との関わり、英語や日本語をもとにしたことばの変化と歴史、人間以外の動物との関係をめぐる問題、人工知能やロボット等と共存する情報化社会に必要なプロンプトエンジニアリングを題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題を芸術、価値観、ことば、情報の観点から考察する。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
ことばの世界	松元 浩一	英語や日本語を初めとする「ことば」、文化の価値、人間以外の動物との関係、人工知能を扱うプロンプト等を題材にし、コミュニケーション上有用なICT機器の活用も含めて、現代に生きる人間活動の諸問題をことばと文化と情報の観点から考察する。	・意識や行動の見直し ・知識、技能、思考、判断、表現のより良い在り方・探求	◎	○
音楽	宮下 茂	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関わりを知り、音楽作品を鑑賞し理解を深める。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。	・意識や行動の見直し ・知識、技能、思考、判断、表現のより良い在り方・探求	◎	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



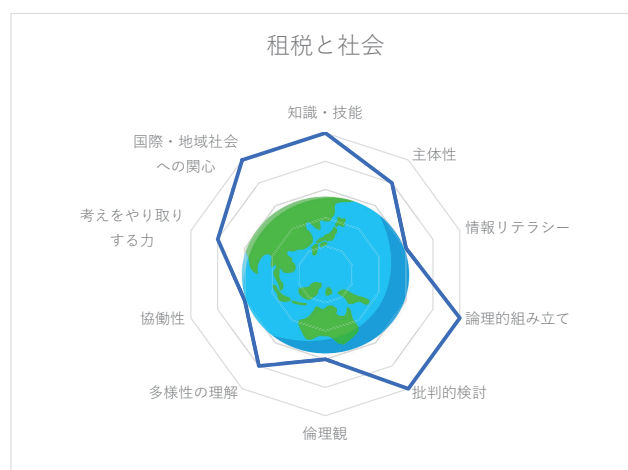
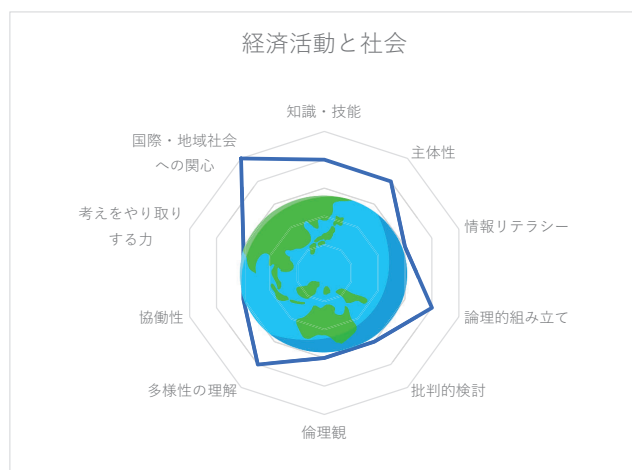
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B5		テーマ名		現代社会と企業活動						
責任部局	経済学部		テーマ責任者		三輪 加奈						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	私たちの生活や現代の経済・社会と関係し、また大きな影響力を持つ企業活動や政府・地方自治体などの在り方、国際社会とのつながりを知ることは、「一つの行動はすべての他の行動と連鎖している」という視点に立つプラネタリーヘルスを考えるにあたり、非常に重要である。
テーマの趣旨	現代の経済・社会の有り様について、企業をはじめとした民間部門のみならず、政府や地方自治体などの在り方を通じて学ぶ。特に国際社会との関係および租税という、私たちの生活と引き離すことのできない2つの大きなテーマから学習することで、現代の社会経済が抱える課題などを正しく理解する力を身に付けることを目指す。
学生の皆さんへのメッセージ	私たちが生活をしていく中で、あまり意識することのない（ごく当たり前に提供されていると感じている）公共サービスがどのような仕組みで成り立っているのか、また企業活動や国際社会との関係はどうなっているのかなどを改めて意識し、知っておくことは非常に重要と考えています。そのための第一歩を踏み出しましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
経済活動と社会	三輪 加奈	世界の国々の相互依存性は高まっており、世界全体に関わる問題はもちろん、ある国での財政不安や政治不安、感染症の拡大などが、世界に様々なリスクや影響を与える可能性がある。この授業では、私たちと海外とのつながりや、世界が抱えている問題・課題などについて学習する。	現代の経済・社会と国際社会	○	◎
租税と社会	森田 顕仁	現代の経済、社会における租税の役割、租税の仕組みなどについて学習する。その上で、今後の租税制度のあり方について、自ら考える力を身につける。	現代の経済・社会と政府・地方自治体	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



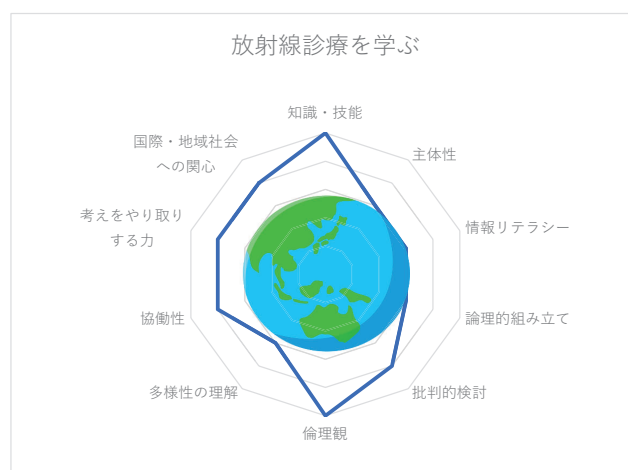
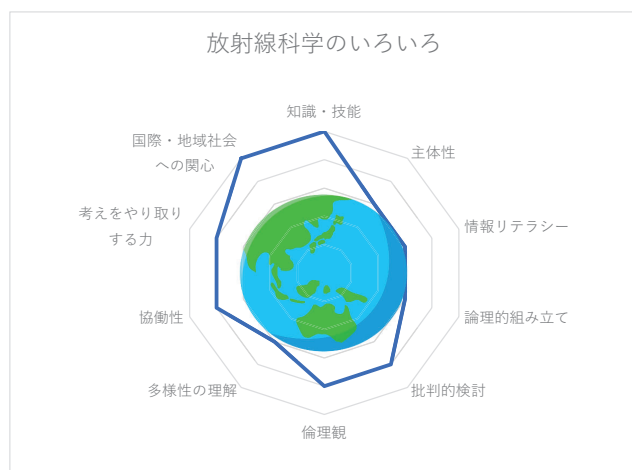
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B6		テーマ名		放射線科学への招待						
責任部局	医学部医学科		テーマ責任者		東家 亮						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
					○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	Planetary Healthの理念のもと放射線科学について学び、放射線と健康生活、現代社会との関わりについて理解を深める。
テーマの趣旨	放射線がときに人の健康に大きな影響を及ぼすことは知られていますが、私たちが日常生活の中でいろいろなものから放射線を受けて暮らしていることや、医療分野においては放射線のもつ様々な特性が利用されていることについては知らない人も多いかもしれません。本テーマでは、放射線のもつ特性や人に与える影響、原爆被爆者に見られた健康影響、およびその特性を利用した放射線診療についてなど、放射線科学について学際複合的にわかりやすく講義します。
学生の皆さんへのメッセージ	みなさんは放射線についてどんなイメージをもっていますか？ 普段意識されることはありませんが、実は生活の身近にあって様々な分野で役立っています。 放射線科学について一緒に学んでみませんか。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
放射線科学のいろいろ	中島 正洋	放射線科学は学際複合的で基礎生物学から基礎・臨床医学、社会医学等様々な領域を含んでいます。長崎大学で学ぶ学生として、知っていて欲しい放射線に関する様々なトピックを紹介します。	放射線被ばく、災害・復興、被ばく医療・防護学、リスクコミュニケーション		○
放射線診療を学ぶ	東家 亮	放射線科で行われている画像診断や放射線を使った侵襲性の少ないがん治療について紹介します。	放射線診療 画像診断、放射線治療・がん治療 医療被ばく	○	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



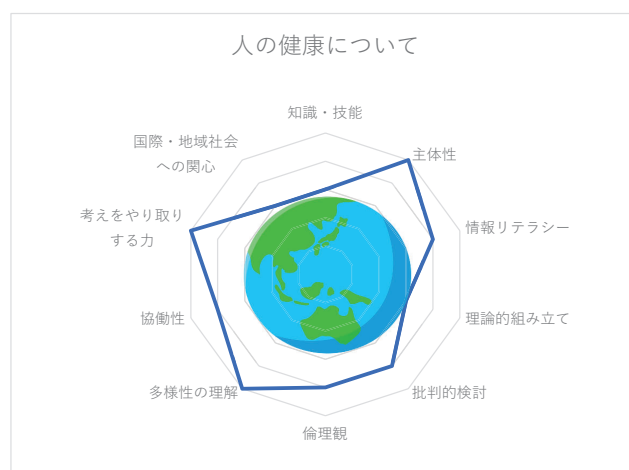
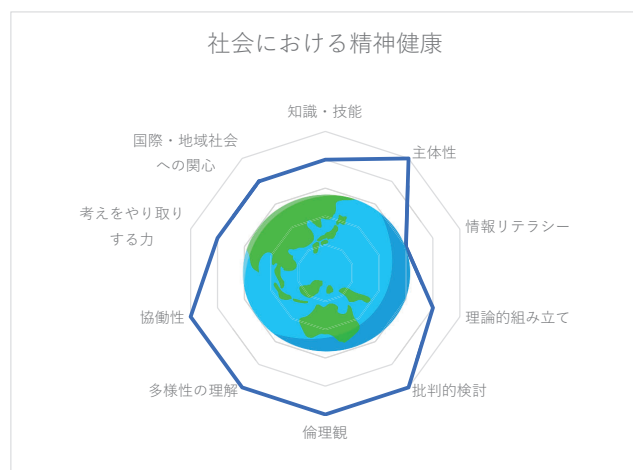
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-87		テーマ名	健康と共生							
責任部局	医学部保健学科		テーマ責任者	折口 智樹							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○		○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	環境の人の健康に及ぼす影響や自然災害と精神健康との関連を通してプラネタリーヘルスについて理解する。
テーマの趣旨	健康とはただ疾病や傷害がないだけでなく、身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態をいう。また健康問題を考えるとき病気や障害があってもその人がその人らしく生きられ、社会全体が共に生きる（共生）という視点が重要である。ここでの「共生」には「多様性」「人権」「リハビリテーション」「社会福祉」も含まれる。そのために本テーマでは健康と共生について学ぶための基本的知識について概観する。
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識は特に問いませんが、健康問題に関心がある方、ほかの人と協働して学修を進めていくことに関心がある方を歓迎します。受け身の学習態度ではなく積極的な学修態度で臨んでほしいと思います。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
社会における精神健康	永江 誠治	精神障害や精神保健に関する基礎的内容を理解し、精神障害をテーマにした映画の視聴・ディスカッション等を通して、社会（又は自然災害）と精神健康との関連について検討する。	自然災害、精神健康	○	◎
人の健康について	折口 智樹	人の健康ならびに健康問題について理解する。健康と生活・運動習慣、環境との関連について検討する。	環境、健康問題		○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



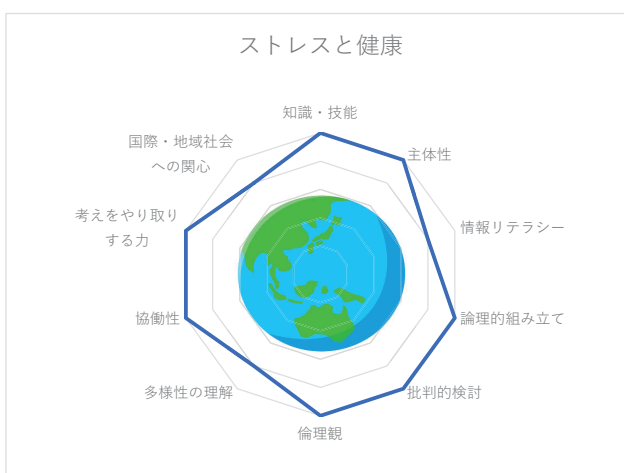
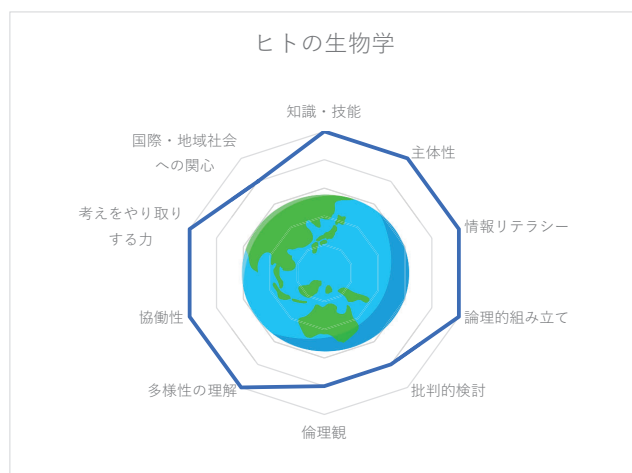
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B8		テーマ名		ヒトの生物学とストレス						
責任部局	歯学部		テーマ責任者		筑波 隆幸						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○			○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	「ヒトの生物学」では基本的な体の仕組みというミクロの視点と健康・生命科学のマクロの視点から解説講義を行うことでプラネタリーヘルスの基本編講義となっている。また「ストレスと健康」では人間と環境との関連を物理的、化学的、生物的、心理的、社会的要因から解説するのでプラネタリーヘルスの応用編の講義となる。
テーマの趣旨	人（ヒト）について理解するには、自然科学・社会科学・人文科学などの多面的観点から総合的に把握することが必要であるが、本テーマでは自然科学の中でも特に生物学・医学・歯学的な観点を中心に、ヒトの特性について理解することを第一の目標とする。「ヒトの生物学」では、生物の基本的な特性として、生命現象を営む仕組み、遺伝の仕組み、細胞の働きを理解することによって、ヒトについての生物学的特徴の理解を深める。また生命活動を営んでいく上で、生体の全体的なバランスは恒常性によって一定に保たれているが、「ストレスと健康」では、そのバランスを乱す可能性のある多様な刺激によって生じたストレスが生体にどのように影響を与えるか、また生体はそれらのストレスに対してどのような防御機構を有しているかについて学習する。
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識は全く問いません。生物としてのヒトについて興味のある方を歓迎します。本テーマは、生物学・医学・歯学・環境科学・医用生体工学などに関連する基本的な知識を習得するのに最適です。ただしアクティブラーニングを行いますので発表していただくことになります。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
ヒトの生物学	住田 吉慶	ヒトを含めた生物を理解するための基礎的な知識や概念を学習する。特に遺伝の仕組み、タンパク質・脂質・核酸・細胞の働き、味覚、体内時計、骨の役割を理解する。健康、生命科学的課題についてアクティブラーニング法も取り入れて学習する。	遺伝子・タンパク質・脂質・核酸・細胞・味覚・体内時計・骨	○	○
ストレスと健康	筑波 隆幸	ヒトを取り巻く環境からの物理化学的ストレスについて学習するとともに生命体としてそれらのストレスにどのように対処し、克服しているかについて理解する。	紫外線・活性酸素・感染・老化・神経系・内分泌系・免疫系	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



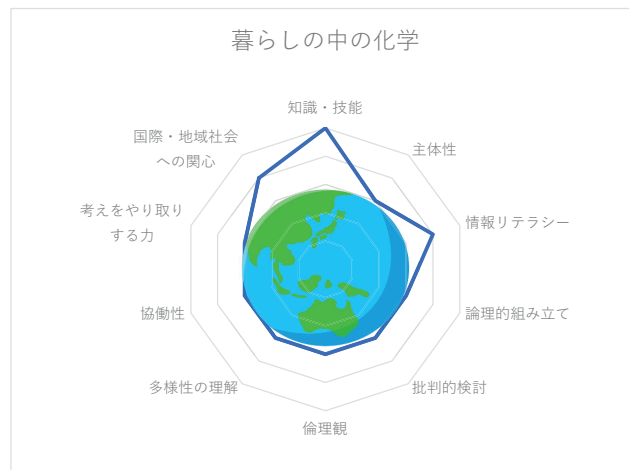
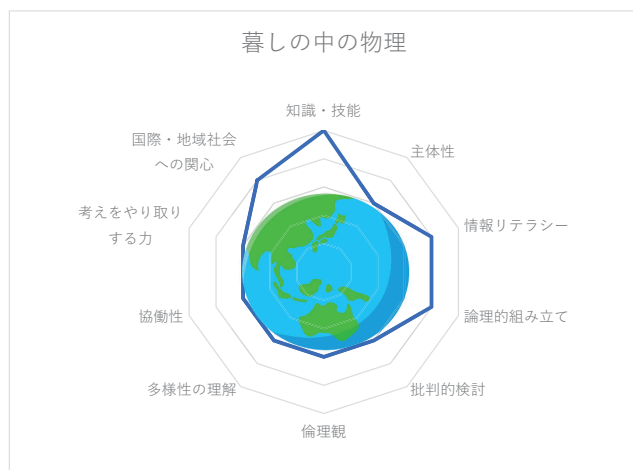
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B9		テーマ名	暮らしの中の科学							
責任部局	工学部		テーマ責任者	桃木 悟							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○		○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	物理や化学が実際に社会で利用されている仕組みを理解する事で、エネルギーや資源、環境、生活・医療など様々な分野の最新技術が「プラネタリーヘルスの改善にどのように役立っているか」について学びます。「暮らしの中の物理」においては、直接的に地球規模の環境問題と直結する熱とエネルギーの利用に関する事、それに関連する流体の挙動、様々な機器を製作するにあたって必須となる光学と電子機器に関連する事、現代物理の基本となる相対性理論について取り上げます。「暮らしの中の化学」では、プラネタリーヘルスに資する環境や人間に優しい物質合成やエネルギー生産、さらにはヘルスクエアに役立つデバイスやナノドラッグの開発について取り上げます。
テーマの趣旨	日々の暮らしの中で使っているコンピュータや機械、電子機器には、様々な物理的、化学的な現象を巧みに応用されたものが多くあります。ひとつひとつの製品は、先人達の多くの知恵と努力が詰まっているにも関わらず、私たちは何気なしに使っています。もし、その製品に詰まった工夫や仕組みを知っていれば、より効率的に正しく使うことができます。さらには、皆さんがこれから研究を行う時に、正しい理解の上でコンピュータや実験装置を使うことができるでしょう。本テーマでは、暮らしの中の物理および化学について、基本的な法則から応用例まで紹介します。高校において修得しておくべき数理科学と自然科学の内容を、大学での教育の視点から多面的に意味づけ、さらに再整理した上で、科学的な思考法と方法論の基礎を学びます。身の回りの社会や先端科学技術と数理・自然科学との関わりを理解することを目的および教育目標とします。
学生の皆さんへのメッセージ	学生の皆さんが修得した数学、物理および化学の知識を、身の回りにあるコンピュータ、構造物、エンジン、光学電子機器、化学製品などと結びつけることができるようになります。身の回りの“なぜ？”を感じたことのある学生の皆さん、この機会に知識を整理してみませんか？

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
暮らしの中の物理	桃木 悟	力、エネルギー、熱、流体、光などの基本的な物理の法則について学び、それらを利用した身の回りのものの構造と動作原理を理解する。	熱とエネルギー、流体とエネルギー、光学と電子機器、相対性理論	○	
暮らしの中の化学	鎌田 海	化学物質の性質がその機能の中核を担う身の回りの製品や機器に注目し、どのような分子・化合物（化学物質）によって構成されているのか、どのような性質が重視されてそれらの製品に採用されているのか化学的視点から学ぶ。	エネルギー・ヘルスクエア・ナノ薬物		○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-B10		テーマ名	暮らしを支えるエンジニアリング							
責任部局	工学部		テーマ責任者	兵頭 健生							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○		○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	人類は、新しい材料の開発や電気・電子技術をはじめとするエンジニアリング技術の進歩によって、私たちの生活を豊かで便利なものにしてきました。エネルギー・資源の活用、環境問題への対応、情報家電や医療・交通インフラの発展など、エンジニアリング技術はあらゆる場面で私たちの生活を支えています。しかし、その一方で、これらの技術が地球環境に与える影響も無視できるものではありません。本テーマでは、電気回路・電磁気学・半導体工学・材料工学を中心に、エンジニアリング技術が環境や社会に与える影響を学びます。また、本学が推進する「プラネタリーヘルス」の理念のもと、持続可能な未来を築くために必要な視点を養います。特に、「グローバルエコロジー」に焦点を当て、環境との調和を考えながら技術を発展させる方法について探究します。さらに、応用分野として、暮らしを支えるエレクトロニクス&マテリアルエンジニアリング技術が「グローバルヘルス」にどのように貢献できるのかも考えていきます。
テーマの趣旨	現代社会は、様々な先端技術や先端物質の恩恵を受けて成り立っています。皆さんが大学で勉強する際に欠かせないスマートフォンやノートパソコン、日常生活に必要な数々の家電製品、バイクや自動車・電車・飛行機といった各種交通機関、医療分野で利用されている診断・治療機器、これらがどのようにに発明・開発され高性能化されてきたか、どのような材料が使われ発展してきたのか、皆さんはほとんど知らないのではないでしょうか。 本テーマでは、電気回路・電磁気学・半導体工学・材料工学という重要なエンジニアリング技術の分野を基盤として、皆さんの暮らしを支えている代表的な製品の動く仕組みや使われている材料を学びます。「電気やエレクトロニクスの基礎と応用」「身の回りの物質の種類や性質、各種製品への応用」について特に注目し、これらの視点から「豊かで幸せな社会を築く方法」を自分自身で模索できるようになることを目標としています。
学生の皆さんへのメッセージ	皆さんが実際に使用している製品が何でできているか、どのように動いているのか、それらが今後の皆さんの生活にどのように関わってくるのか、などについて興味のある方を歓迎します。このテーマを受講することで、高校で勉強してきた「物理」や「化学」と現代の生活との関連性が理解できるでしょう。そのために、本テーマでは、電気回路・電磁気学・半導体工学・材料工学を基盤として学びます。「電気・磁気が日常生活にどのように貢献しているのか」「身の回りにある様々な物質にはどのような性質や機能があるのか」を具体的に理解できるようになりますし、私たちが日常使っている様々な家電製品やエレクトロニクスに「電気・磁気」や「物質」がどのように応用されているかを知ることができます。これらの知識は、皆さんの専門分野の勉強や在学中・卒業後の社会活動に必ず役立つと信じています。皆さんと、本テーマを通じて一緒に学べることを楽しみにしています。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキード	※授業編成の視点	
				人文科学 の内容を 取り扱う	社会科学 の内容を 取り扱う
暮らしを支えるエレクトロニクスエンジニアリング	柳井 武志	電気回路、電磁気学、半導体などの基礎を学びながら、それらが地球環境保護にどのように貢献できるかを探ります。省エネルギーに貢献するために重要な電気の分野の技術に関して演習を交えながら学んでいきます。	電気回路、電子回路、電磁気、半導体、エネルギー、情報、パワーエレクトロニクス	○	◎
暮らしを支えるマテリアルエンジニアリング	兵頭 健生	私たちの生活を豊かにしている身の回りの物質（材料）を整理し、それらの基本的な性質・機能を学びます。さらに、これらの物質が、現在のエネルギー・資源、環境、生活・情報家電、運輸交通、医療・ヘルスケアなど様々な分野で利用している装置・機器でどのように役立っているかを考えながら、その重要性を学びます。	エネルギー・資源、環境、生活・情報家電、運輸交通、医療・ヘルスケア・材料工学	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



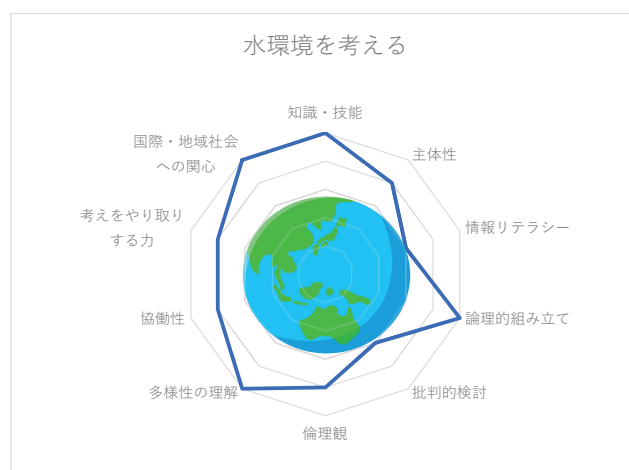
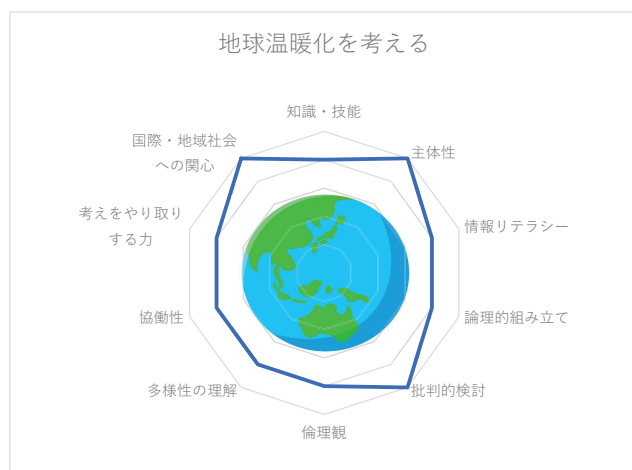
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B11	テーマ名	環境をめぐる諸問題									
責任部局	環境科学部		テーマ責任者	小山 光彦								
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部	
				○	○	○		○	○			

プラネタリーヘルスと向き合う視点	本テーマは、地球温暖化および水環境汚染・浄化という、プラネタリーヘルスに直接的に関連する2つの内容から成っています。
テーマの趣旨	これからの社会の長期的将来像を考える時、環境問題からの視点が必要不可欠です。本テーマでは、人類が直面するいくつかの環境問題を理解し、様々な視点や立場からその解決策について探ることのできる素養および思考力を養うことを目的・教育目標とします。
学生の皆さんへのメッセージ	巨大な地球ですが、化石燃料の大量消費や化学物質の放出、乱獲や森林破壊など、“持続”という視点から見ると、取り返しのつかない領域に踏み込んでいます。皆さんが今後、社会の一員として数年先(就職や進路)、数十年先(家族のこと、将来の生活)、百年先(子孫の生活、国家の存続)を考えると、環境の視点からの予測も必要不可欠な時代となりました。このテーマでは、環境問題の中から、地球温暖化と水環境について、主に科学的視点から学び、見識を広めます。本テーマでは、講義は知識の押しつけ型ではなく、講義レベルを平易にし、学生の皆さんには自ら考える機会、そしてそれを文章にする機会、さらに人に伝える機会を増やそうと考えています。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
地球温暖化を考える	和達 容子	温暖化に伴う地球の気象および気候の変化を学ぶ。また、関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国家間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状を学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。	温室効果、地球温暖化、化石燃料、炭素貯留、国際交渉	◎	◎
水環境を考える	長江 真樹	上水と下水に関連した種々の水処理技術について学ぶ。また、水に関連した種々の環境問題の現状を理解する。また、植物などを使った水質浄化の実例を学ぶとともに、人の生活が水辺の生き物に与える影響についても学ぶ。そして、水を中心に人を含めてさまざまな生き物が多様で密接な関わりを持つことを考える。	上水、下水、水処理技術、水質汚染評価、水辺の動植物	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



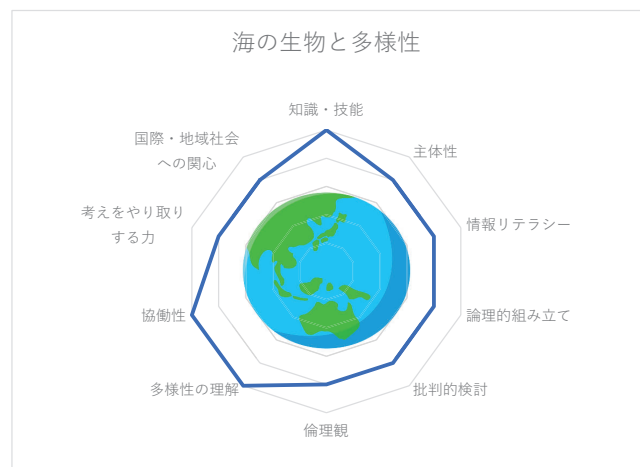
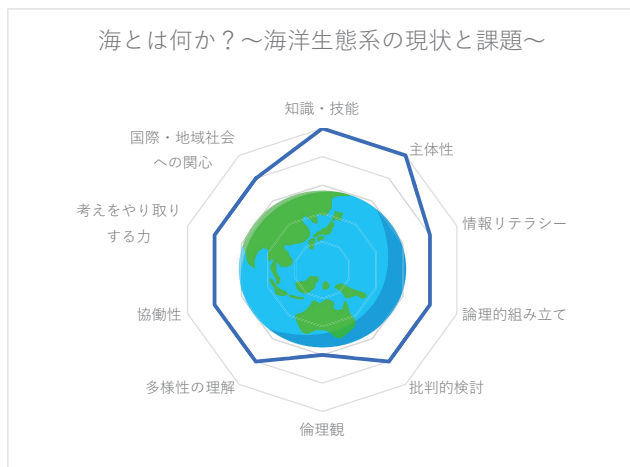
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B12		テーマ名		海洋の生物多様性と生態系サービス						
責任部局	水産学部		テーマ責任者		小山 喬						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	海とそこに暮らす生物について学ぶことにより、海の環境や資源をまもるために何をすべきか考えるための知識を身につけます。
テーマの趣旨	海洋は生物、鉱物、エネルギーなどの様々な資源の宝庫ですが、環境共生型の社会を実現するためには、これらの貴重な資源を有効に利用し、持続的に維持していく必要があります。本テーマでは海洋生物の形態・行動・多様性、および海洋環境と生態系との関連などを理解するために必要な基礎知識を習得します。このように、海洋と海洋生物の科学について多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につけます。
学生の皆さんへのメッセージ	海と海の生物に深い関心があり、主体的な学習意欲を持つ方を歓迎します。 授業内容をよく理解するためには、高校卒業程度の理科に関する知識を持っていることが好ましい。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
海とは何か？～海洋生態系の現状と課題～	滝川 哲太郎	海が存在と地球環境や人間生活との関わり、および、近年の複合的な環境変化が、海洋生態系に与える影響について、その現状と課題、我々が出来ることを共に考えていきます。	海洋環境・海洋資源・海洋生態系・海洋リテラシー	○	○
海の生物と多様性	竹垣 毅	海洋生物（遺伝子資源も含む）の個体、個体群、群集、生態系において起こる様々な生命現象や、海洋生物資源の生産・培養技術の基礎について、幅広い視点から講義します。	生態系・生物多様性・魚類・進化・遺伝子・サイズ学	○	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



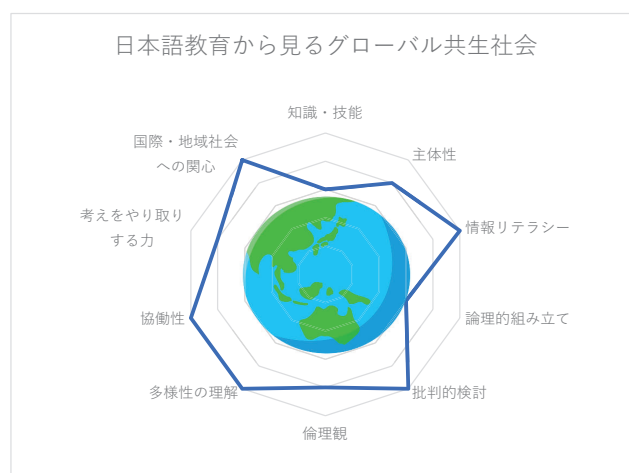
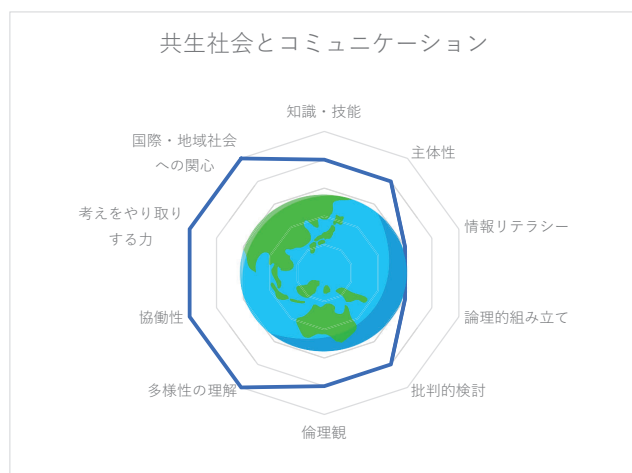
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B13		テーマ名		グローバル社会とコミュニケーション						
責任部局	留学生教育・支援センター		テーマ責任者		古本 裕美						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	「プラネタリーヘルス」と向き合う際、多様な文化、価値観、社会的背景を持つ人々との相互理解は不可欠です。本テーマでは、(1) 多様性を尊重し、包括的社会を築くための視点、(2) グローバル共生社会の実現に関わるさまざまな知識、の二つを身につけることを目指します。
テーマの趣旨	現在、長崎大学には約600名の外国人留学生がいます。日本に観光に来る外国人や日本で暮らす外国人の数の増加に伴い、私たちが街や職場で外国人に出会う機会もますます増えることが予想されます。また、グローバル化のさらなる進捗が期待される日本社会で私たちが「外国人」と円滑に共生していくためには、彼らの経験する日本語学習とは何かという点もよりよく理解する必要があります。本テーマでは、グローバル共生社会をより深く理解するための知識や教養に加えて、多様な背景を持つ人々が共に暮らす中で必要なコミュニケーション能力を身につけることを目指します。
学生の皆さんへのメッセージ	グローバル化が当たり前となった現在、私たちも、異なる文化・歴史・習慣を持つ人々との社会での共生と無縁ではられません。あらゆる人々が互いに認め合い、支え合いながら生活できる社会を作るためには、語学力だけでなく、さまざまな社会的背景に関する視点や知識、そしてコミュニケーション能力が求められます。この授業で行うグループ発表やディスカッションなどを通じて、それらを身につけましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
共生社会とコミュニケーション	古本 裕美	まず、「やさしい日本語」を学び、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方を振り返ります。その後、外国人を含め、いろいろな人が共に暮らすために必要なもの・ことについて考えます。	包括的社会 日本語 “やさしい” コミュニケーション	◎	○
日本語教育から見るグローバル共生社会	GUO YUXIN	国内外の日本語学習者に対する日本語教育の現状と問題点について考えながら、「外国人」に必要な「日本語教育」とはどのようなものであるかを検討します。	日本語教育 グローバル共生社会 「外国人」 多様性	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



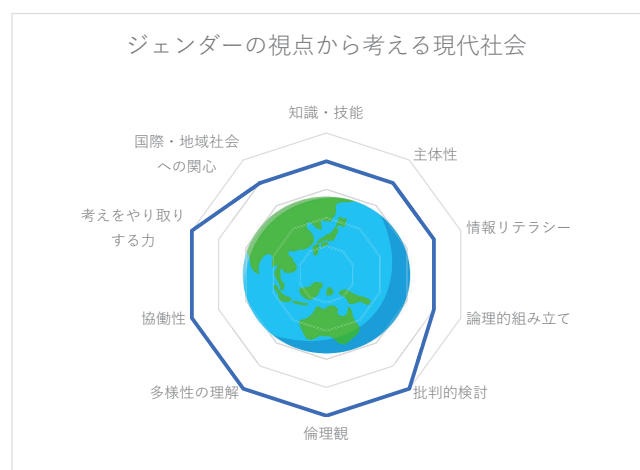
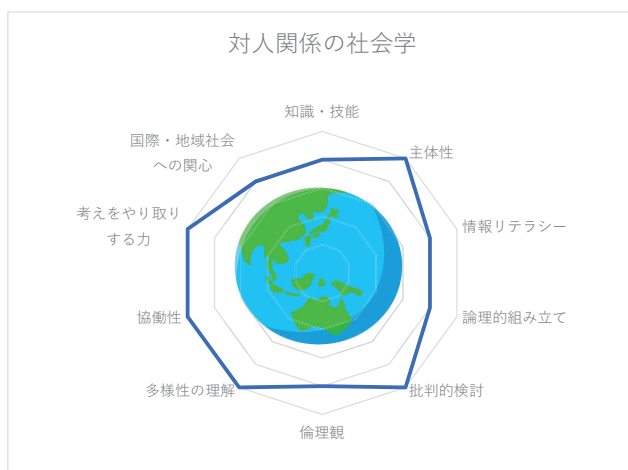
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B14		テーマ名		公平な社会と人間関係						
責任部局	教育開発推進機構		テーマ責任者		岡田 佳子						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	「プラネタリーヘルス」は、人間と地球の健康が相互に影響し合うという視点から、持続可能な社会のあり方を考える概念です。本テーマでは、この視点から人間社会における問題を社会的に掘り下げ、とくにジェンダー、SOGI、無意識のバイアス、教育格差、スクールカースト、隠れたカリキュラムといったキーワードを扱います。社会構造が個人の生き方に与える影響を分析し、より公正で持続可能な未来のための方策を議論します。様々なテーマを社会学の視点からみることによって多様な視点を養い、現代社会の課題を批判的に考察する力を培います。
テーマの趣旨	私たちは日々、家族、友人、学校、職場などで多くの人と関わりながら生活しています。しかし、こうした対人関係や社会の仕組みは、文化や社会の枠組みの中で当たり前のもので受け入れられがちです。本テーマでは様々なトピックを取り上げ、社会学の視点から、自分が置かれた文化的・社会的な文脈を俯瞰的に分析する力を養います。社会構造が個人の意識や行動に与える影響を考察し、より公平で持続可能な社会の実現に向けて、私たちに何ができるのかを探ります。また、私達もつ普段の視点を問い直し、社会を多角的に捉えることで、新たな気づきを得ることを目指します。
学生の皆さんへのメッセージ	本テーマでは、グループワークやディスカッションを多数実施します。ワークや課題の配点が高いため、受動的に授業を受けたい方には不向きなテーマですので注意してください。このテーマを学ぶ中で公平な社会と人間関係について一緒に考えていきましょう。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーマ	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
対人関係の社会学	岡田 佳子	成長と共に広がる人間関係の中で身についていく思考やふるまい、関係性について理解を深める。また、グループワークを通して人の多様性について考える力を身につける。	教育格差、スクールカースト、隠れたカリキュラム	○	◎
ジェンダーの視点から考える現代社会	中島 ゆり	社会と家庭におけるジェンダーにかかる問題を知り、自分の今後のキャリアのあり方と、社会における問題の解決の方策を検討する。データをもとに考える力と広い視野を身につける。	ジェンダー、SOGI、無意識のバイアス	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



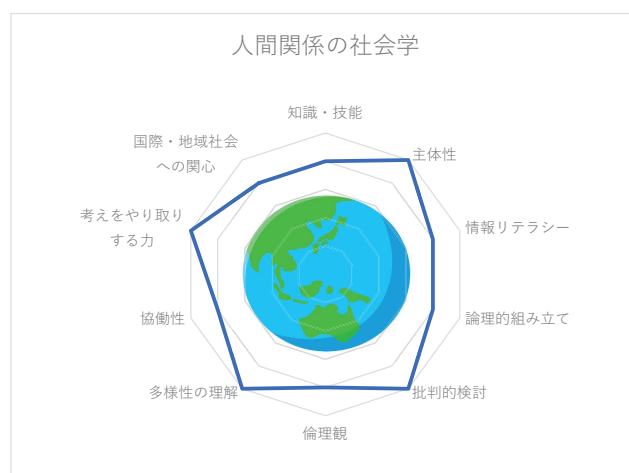
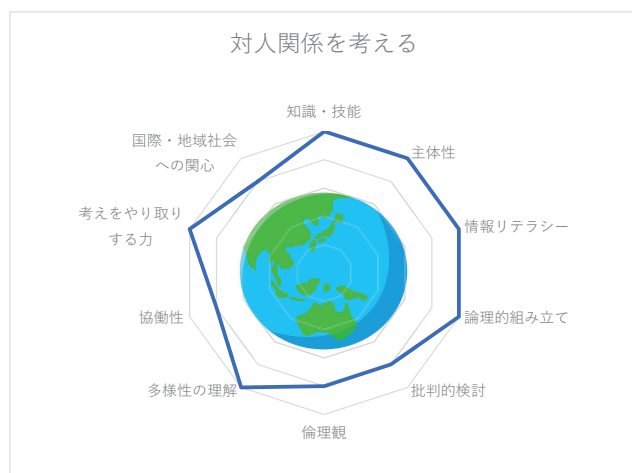
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B15		テーマ名		文化と対人関係						
責任部局	教育開発推進機構		テーマ責任者		當山 明華						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	社会や集団が抱える問題について、教育社会学と心理学の知見を用い、様々な同士がグループワークを行うことによって、相互理解をし、新たな解決策を探ります。社会学の知見として、文化的再生産、学校文化、教育格差、ジェンダーなどの視点から、心理学の知見として、思考パターン、意思決定、対人コミュニケーション、社会的ジレンマ、論理的思考などの視点から社会や集団が抱える問題について考えていきます。
テーマの趣旨	人が他者や社会と関わる際には、相互理解は必要不可欠なスキルです。このスキルを獲得するためには、他者および社会との関係性の理解が重要となります。我々は皆、社会の中で生きる一員として、既に存在する社会の中で育ってきます。つまり我々は、他者や社会のなかで今の自分になってきたともいえるのです。したがって、相互理解についての実践力を高めるためには、普段当たり前にとらえている他者及び社会と関わる状況を明らかにし、その上で各自のスキルをより機能的なものにしていくことが有効です。本テーマでは、社会における相互理解を理論的に理解し、基礎的なスキルを高めつつ、実践力向上を目指します。前半で教育社会学の分野から他者や社会で起こる事象について理解し、後半は心理学の分野から自己との対話を含む他者との関わりについての深い理解に基づいた実践力向上を目指します。
学生の皆さんへのメッセージ	大学や社会等での相互理解に必要とされる思考力・分析力など、様々な基礎能力を育成することを目指しているため、積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが強く求められ、授業後の課題提出も重要です。グループワーク内での積極的な発言、さらに授業内での気づきをリフレクションや課題で提出してもらい、その内容を評価します。そのため、受動的に授業を受けたい人には大変不向きな授業です。その点に留意して受講してください。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
対人関係を考える	當山 明華	自己と他者とのコミュニケーションだけでなく、自分自身とのコミュニケーションについての理解を深める。グループワークを通して、人の多様性や社会との関わりを理解し、生活に活かす。	思考パターン、意思決定、対人コミュニケーション、社会的ジレンマ、論理的思考	○	
人間関係の社会学	岡田 佳子	人間関係に絡む現代的な諸問題について学修し、グループワークを通じて解決に向けた方策を考えていく。また、そこでの関わりから、人の多様性について考える力を身に付ける。	文化的再生産、学校文化、教育格差、ジェンダー		○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



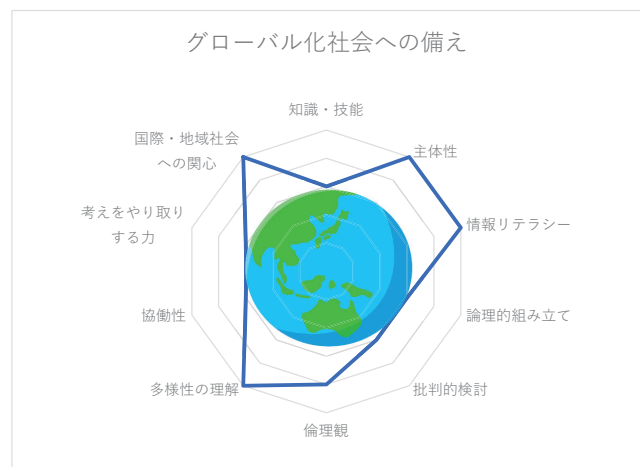
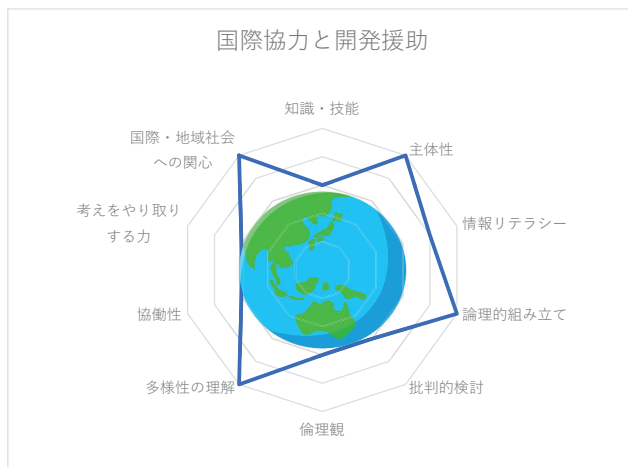
プラネタリーヘルス I 科目テーマ案内

テーマ番号	25-B16		テーマ名		国境を越えていけ！						
責任部局	グローバル連携機構		テーマ責任者		清田 智子						
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	今我々が目の当たりにしている紛争や気候変動等の地球規模の課題は、一つの国家では解決できません。我々一人一人が国と国との国境を越えて物事を考え、「日本人」と「外国人」といった心の中の国境を取り払って、共に行動していくことが、国際的な協力をより深化させていくことにつながります。この科目では、プラネタリーヘルスに取り組むための国境の越え方を一緒に考えていきます。
テーマの趣旨	このテーマでは、国際協力という視点からグローバル社会をより深く理解するための知識と教養だけでなく、自らの考えを伝え、相手の考えに共感できる相互理解を進める方法を身につけます。具体的にはグローバル社会の多様性を理解するために、地球上で今なお貧困による経済、社会的困難に苦しんでいる人々に対して世界がどのように対処しているかを開発援助の面から学びます。そして、現代社会で求められる異文化とのコミュニケーションも受講することによって、グローバル化された世界における社会の状況とそこで活躍するために求められる能力は何か理解を深めます。
学生の皆さんへのメッセージ	グローバル化が急速に進展する中、日本人も異なる文化、歴史、習慣を持つ人々との社会での共生と無縁ではられません。従って、これからは日本社会もグローバル社会の一部であるという認識が必要であり、この科目では国境、国家にとらわれず地球規模で活躍する人材の育成を目指しています。そこでは語学力だけでなく、自身が目指す人材に必要な基礎的な知識や教養、更には国籍問わず社会背景、文化が異なる人々とのコミュニケーション能力を持つことが求められます。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
グローバル化社会への備え	清田 智子	本講義では、グローバル化した社会を生き抜く上で必要な知識や情報収集の方法を学びます。外国人と一緒に働く際に知っておいた方がよいマナー、海外で働く際の注意事項、国際的に働く際のCV（職務経歴書）の書き方や仕事への応募の方法やビザの問題等、様々な視点から実践的にグローバル化社会に備えていきます。	国境、外国人	○	◎
国際協力と開発援助	遠山 峰司	感染症の脅威、貧困、紛争と人道危機、経済不況、環境汚染は国境を越え、世界には一つの国では対処困難な課題が山積しています。本科目は国際協力における開発援助の概念、歴史、仕組み、実例に関する基礎的知識を身に付け、開発途上国に対する国際協力についての「自分の考え」を説明できるようになることを目指します。	地球規模の課題、国際協力	○	◎

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



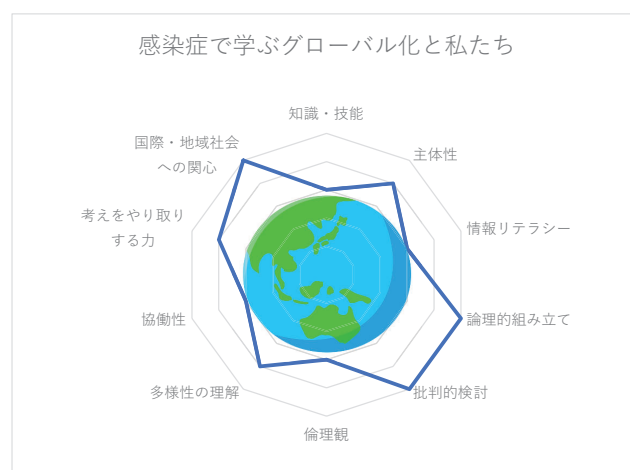
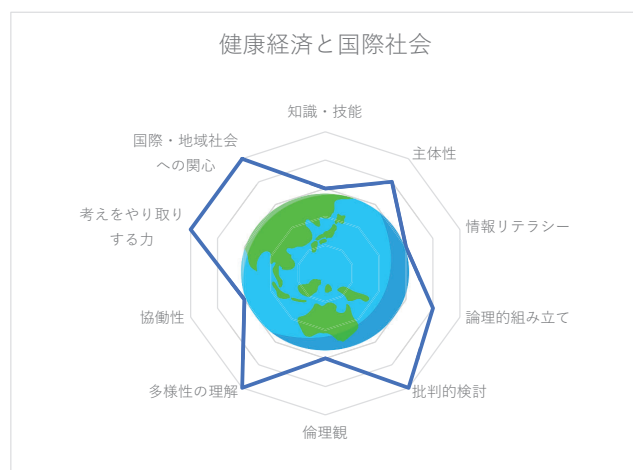
プラネタリーヘルスⅠ科目テーマ案内

テーマ番号	25-B17		テーマ名	プラネタリーヘルスと人間の健康							
責任部局	グローバル連携機構		テーマ責任者	森保 妙子							
対象学部	多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部医学科	医学部保健学科	歯学部	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部
				○	○	○		○	○	○	

プラネタリーヘルスと向き合う視点	本テーマは、地球環境と人間の健康の相互関係を理解し、グローバルな課題に対応するための視点を養うことを目的とする。「健康経済と国際社会」では、医療・社会保障制度、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、健康格差といったテーマを取り上げ、健康経済の視点から持続可能な医療システムの課題を考察する。一方、「感染症で学ぶグローバル化と私たち」では、感染症が地球規模のさまざまな社会的要因（人口増加、都市化、戦争・紛争など）、経済的要因（貿易、所得格差、貧困など）、環境的要因（気候変動、土地開発、都市開発など）とどのように相互作用しているのか、歴史的事例を用いて批判的に考察し、新興感染症やパンデミックに備えた感染症対策について議論する。これらの講義を通じて、学生はプラネタリーヘルスの視点から、国際社会が直面する健康課題を多角的に理解し、問題解決のための知識と批判的思考力を養うことを目指す。
テーマの趣旨	本テーマは、地球環境の変化が人間の健康に与える影響を理解し、環境・社会・経済の要因を統合的に考えながら、持続可能な社会の構築に向けた包括的な理解と分析能力を養う。医学、経済学、社会科学、環境科学などの学際的な視点を取り入れ、グローバルな視点で健康と持続可能性のバランスを考え、将来の課題解決に向けた実践的な知識とスキルを身につけることを重視している。
学生の皆さんへのメッセージ	本テーマでは、グループディスカッションを通じて、意見を交換し、異なる視点を学ぶことを大切にします。これから大学で専門的な知識を学ぼうとしているみなさんが、それぞれ関心ある視点から「地球の健康とヒトの健康」のあり方を考察し、自分の意見を論理的に構築できるようになることを目指しましょう。「健康経済と国際社会」では、英文の報告書やYouTube動画を活用するため、英文を読む意欲があることが望ましいですが、英語力に自信がなくても、講義内でサポートを行いますので安心してください。「感染症で学ぶグローバル化と私たち」では、歴史的事例（天然痘、ペスト、スペイン風邪、HIV/AIDS、COVID-19など）を取り上げますので、歴史や文化に興味がある方も歓迎します。「健康」は医療や公衆衛生だけの問題ではありません。多様な学生の皆さんの受講を期待しています。

科目名	科目責任者	概 要	プラネタリーヘルスキーワード	※授業編成の視点	
				人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
健康経済と国際社会	蓋 若瑛	本講義では、社会保障制度とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の概念と役割をグローバル社会の視点から理解し、健康経済の観点からその課題と持続可能性を学部生に理解してもらう。気候変動・大気汚染などの環境変化が社会保障制度に及ぼす影響に焦点を当て、国際機関の報告書や最新のデータを活用しながら、医療アクセスや健康格差の実態を分析すること、また、YouTube動画などの視覚教材を用いたケーススタディやグループディスカッションを通じて、実際の政策課題に対する批判的思考力や問題解決能力を養うことを目的とする。国際社会における健康政策や医療経済の基礎を学びながら、持続可能な社会保障制度のあり方について議論する。	気候変動・大気汚染など健康の環境要因、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、健康と保健財政、保健医療体制	○	◎
感染症で学ぶグローバル化と私たち	森保 妙子	本講義では、感染症がさまざまな社会・経済・環境要因とどのように相互作用しているのかを歴史的事例で紐解く。人類の歴史上、都市化、経済活動、戦争、気候変動などは感染症の発生・拡大・制圧に大きな影響を与えた。グローバル化がさらに進んだ現代では、新たな感染症やパンデミックの脅威が増大し、その影響は瞬時に地球規模に拡大する。歴史的事例を通じて学んだことをもとに、感染症対策を経済、都市計画、国際協力、環境保護などの幅広い観点からグループで議論し、学生それぞれが自分なりの意見を探求する。	感染症、パンデミック、人口増加、都市化、戦争・紛争、貿易、所得格差、貧困、気候変動、土地開発、都市開発	◎	○

※工学部・水産学部に係るJABEE項目



長崎大学 プラネタリーヘルス・選択科目小委員会

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

教養教育事務室

電話：095-819-2078

Email：kyoyo_zen@ml.Nagasaki-u.ac.jp